Pioneer

目次へ

DVD LD プレーヤー

DVL-919

取扱説明書

この取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。特に、本書および別冊の「安全上のご注意」は必ずお読みください。
なお、「取扱説明書」および「安全上のご注意」は「保証書」「ご相談窓口·修理窓口のご案内」と一緒にかならず保管してください。
●業務用には対応していません。

安全に正しくお使いいただくために

絵表示について

この取扱説明書および製品への表示は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠ 警告

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

⚠ 注意

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が損害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

△ 記号は注意（警告を含む）しなければならない内容であることを示しています。
図の中に具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。

⃠ 記号は禁止（やってはいけないこと）を示しています。
図の中や近くに具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。

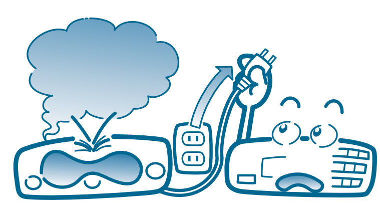
● 記号は行動を強制したり指示する内容を示しています。
図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け）が描かれています。

安全上のご注意（別冊の「安全上のご注意」もお読みください。）

⚠ 警告［異常時の処理］

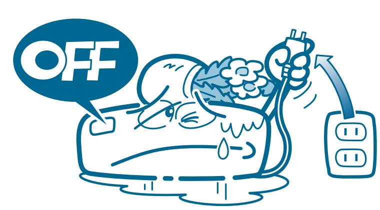
プラグを抜け

●万一煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると火災・感電の原因となります。すぐに機器本体の電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認して販売店に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対おやめください。



プラグを抜け

●万一内部に水や異物等が入った場合は、まず機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。



プラグを抜け

●万一本機を落としたり、カバーを破損した場合は、機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。



本機で再生できるディスクの種類

● 右表に表示されているマークは、ディスクレーベルまたはジャケットに付いています。
本機は、右表のディスクをアダプターなしで再生することができます。

● 故障などを防ぐため、8cmアダプター（CD用）は使わないでください。

本機はNTSC（日本のテレビ方式）に適合しています。

再生できるディスクの種類とマーク	名称 大きさ / 再生面		最大再生時間
DVDビデオ	DVDビデオ		デジタル音声 デジタル映像 （MPEG 2 方式）
	12cm/片面	1層	133分
		2層	242分
	12cm/両面	1層	266分
		2層	484分
	DVDビデオ		デジタル音声 デジタル映像 （MPEG 2 方式）
	8cm/片面	1層	41分
		2層	75分
	8cm/両面	1層	82分
		2層	150分
ビデオCD	VIDEO CD 12cm/片面		デジタル音声 デジタル映像 （MPEG 1 方式） 74分
	VIDEO CD シングル 8cm/片面		デジタル音声 デジタル映像 （MPEG 1 方式） 20分
CD	CD 12cm/片面		デジタル音声 74分
CDグラフィックス	CD シングル 8cm/片面		デジタル音声 20分
CDV	CDV 12cm/片面		デジタル音声 20分 デジタル音声 ＋映像　5分
VSD	VSD 12cm/片面		デジタル音声 ＋映像　5分
レーザーディスク	LD 30cm/両面	CAV	1時間
		CLV	2時間
	LD 20cm/両面	CAV	28分
		CLV	40分
LDグラフィックス	LDシングル 20cm/片面	CAV	14分
		CLV	20分

上記以外は再生できません。

故障などを防ぐため上記以外のディスクは再生しないでください。

（例）　DVDオーディオ、CD-ROM、LD-ROM、DVD-ROM、ハイビジョンLD、リージョンNO.（63ページ、用語を参照）が本機と異なるDVDなど

こんなことができます

パイオニアの DVD LD プレーヤーは DVD、LD、ビデオ CD（PBC 対応）と CD が再生できます。

多彩な DVD の音声出力に対応しています

DVD は、下記の 4 つのデジタル音声方式（1998 年 9 月現在）のいずれかの方式で音声を収録しています。本機のデジタル出力端子からは、下記のいずれかのデジタル音声を出力します。

・ドルビーデジタル *
劇場用のサラウンドシステムです。ドルビーデジタル音声で収録されているDVDでは、ドルビーデジタルデコーダーやドルビーデジタルデコーダー内蔵 AV アンプと接続して、ドルビーデジタルサラウンド音声を楽しめます。

・DTS（ディーティーエス）**
ドルビーデジタルとは異なったサラウンドの規格です。すでに多くの劇場で採用しています。この、劇場用と同じ DTS 音声で収録されている DVD では、DTS デコーダーや DTS デコーダー内蔵 AV アンプと接続して、DTS 音声を楽しめます。ただし、アナログ音声出力端子からは、音声は出力しません。

・MPEG（エムペグ）
MPEG 音声を収録している DVD では、MPEG デコーダーや MPEG デコーダー内蔵 AV アンプと接続して MPEG 音声を楽しめます。

・リニア PCM（ピーシーエム）
CD と同じデジタル音声です。D/A コンバーター内蔵アンプと接続してデジタル音声を楽しめます。
また、音声出力端子からは、アナログ 2 チャンネル音声を出力します。

> 本機は、ドルビーデジタル、MPEGの音声を、リニアPCMに変換する機能を持っています。これにより、特殊なデコーダーをお持ちでなくても、今までの CD を再生するシステムで、音声を楽しめます。

前方 2 本のスピーカーで立体感のある音場効果を楽しめます（39 ページ）

「Virtual Dolby Surround***」をオンにすると、サラウンドスピーカーがなくても立体感のある音場効果が楽しめます。

20 kHz 以上の周波数をマスターなみの自然な波形音で再現します（レガート・リンクコンバージョン）

フォーマットでは記録されない周波数帯（20 kHz以上）の信号を、記録信号を元に 1/f の減衰特性により推定し、20 kHz以上の周波数成分を再現します。マスターなみの自然な波形音を創り出し、音声を再生します。

メニュー画面（GUI:グラフィカルユーザーインターフェース）を見ながら操作ができます（30 ページ）

DVD では、ディスク独自のメニューを収録したものがあります。方向ボタンにより操作します。
パイオニアの DVD LD プレーヤーは、メニューが収録されていないディスクでも、本機のメニュー画面で操作することができます。

---

* ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。
ドルビー、DOLBY、AC-3、プロロジック及びダブル D 記号はドルビーラボラトリーズの商標です。
未公開著作物。著作権1992-1997年ドルビーラボラトリーズインコーポレーティド。不許複製。

** DTS は米国 Digital Theater Systems, Inc. の登録商標です。

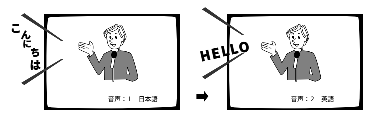
この製品には、マクロビジョンコーポレーション及びその他の権利者が所有している米国特許の方法クレームその他の知的財産権で保護されている著作権保護のための技術が搭載されています。この著作権保護のための技術の使用に関しては、マクロビジョンコーポレーションの許可が必要ですが、家庭及びその他の限定された視聴に限っては許可を受けています。またリバースエンジニアリングや分解は禁止されています。

*** 本機は SRS 社の Trusurround 方式 [TruSurround with SRS]を採用しています。
TruSurround は SRS Labs, Inc. の商標です。 SRS と SRS のマークは米国およびその他数ヵ国における SRS Labs, Inc の登録商標です。
TruSurround の技術は、SRS Labs, Inc. によって使用許諾が登録されています。

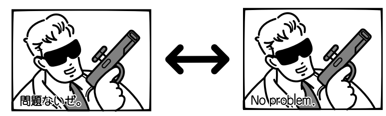
☆ ディスクによってできないものもあります。

DVD 特有の多彩な機能をお楽しみいただけます

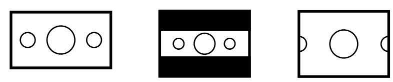
・マルチ音声（43 ページ）☆
複数の音声を収録しているディスクでは、その音声を切り換えてお楽しみいただけます。



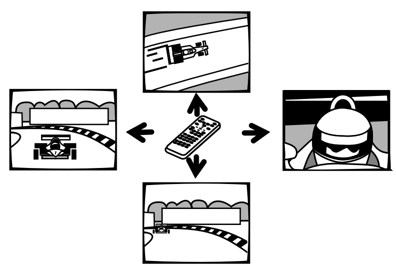
・マルチ言語字幕（44 ページ）☆
映画などで字幕の言語を切り換えて見ることができます。



・マルチアスペクト（35 ページ）☆
ワイド画面対応のディスクでは、ワイド画面、レターボックス、パンスキャンの中から、お持ちのテレビに合わせて選ぶことができます。



・マルチアングル（44 ページ）☆
見たいアングル（シーン）を選ぶことができます。



・パレンタルレベル（視聴制限）（33 ページ）☆
例えば暴力シーンなど、お子様に見せたくない部分を飛ばして見ることができます。

成人向け
Adult Only

この取扱説明書の読みかた

この取扱説明書は、以下の 5 つの章に分けて説明しています。

準備	付属品の確認、リモコンに電池を入れる方法、接続方法を説明しています。
基本操作	再生と終了、および基本機能を説明しています。
お好みに合わせた各種の設定	多彩な機能を説明しています。
応用操作	プログラム設定やリピート再生などの応用機能を説明しています。
その他	これら以外の必要項目を説明しています。

本書では、下記のマークを使用しています。

DVD	DVD で楽しめる機能を説明しています。
LD	LD で楽しめる機能を説明しています。
CD	CD で楽しめる機能を説明しています。
Video CD	ビデオ CD で楽しめる機能を説明しています。
ポイント	操作上で重要な点を説明しています。
注意！	操作上の注意点を説明しています。
メモ	アドバイスなど補助説明をしています。

対応ディスク: DVD / CD / LD / VIDEO CD

			対応ディスク DVD	CD	LD	VIDEO CD
準備	接続のしかた　接続例 1. デコーダー内蔵 AV アンプ	13				
	接続例 2. デコーダーを内蔵しない AV アンプと D/A コンバーター内蔵 AV アンプ	14				
	接続例 3. 映像入力端子のあるテレビ	15				
	接続例 4. コンポーネント入力端子を持ったテレビ	16				
	各部の名称　リモコン	17				
	前面部	18				
	後面部	19				
	表示部	20				
基本操作 簡単に楽しんでいただくために	DVD/CD/ ビデオ CD を再生する	22	●	●		●
	LD を再生する	24			●	
	早送り、早戻しのしかた	25	●	●	●	●
	終了する	26	●	●	●	●
お好みに合わせた各種の設定	メインメニューについて	28	●	●	●	●
	さまざまな設定を変更する	31	●	●	●	●
	画質・音質を切り換える	38	●	●	●	●
	グラフィックスの設定を切り換える	40		●	●	
	よく見る DVD の各種設定を記憶させる	42	●			
	音声言語を選ぶ	43	●			
	音声を切り換える	43	●	●	●	●
	字幕言語を選ぶ	44	●			
	見たい方向からの映像を選ぶ	44	●			
	ディスクの情報を見る	45	●	●	●	●
応用操作 便利な機能やおもしろい機能	つづきから見る（つづき再生）	48	●		●	●
	見たい場面を探す（タイトルサーチ）	49	●			
	見たい場面を探す（チャプター／トラック／タイム／フレームサーチ）	50	●	●	●	●
	希望の順番に並べ換えて再生する（プログラム再生）	52	●	●	●	●
	繰り返し見る・聞く（リピート再生）	54	●	●	●	●
	順不同で再生する（ランダム再生）	55	●	●	●	●
	静止画 / スロー再生 / コマ送り	56	●		●	●
	LD/CD グラフィックスを再生する	58		●	●	
その他	正しく、末永くお使いいただくために	60				
	故障？ちょっと調べてください	61				
	用語	62				
	言語コード表	64	●			
	保証とアフターサービス	66				
	仕様	66				
	索引	67				

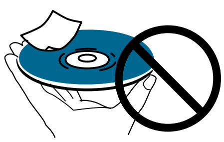
準備
基本操作
お好みに合わせた各種の設定
応用操作
その他

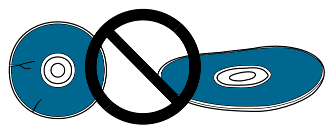
使用上の注意

ディスクの取り扱いかた

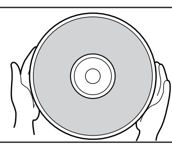
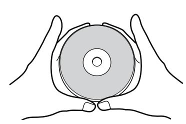
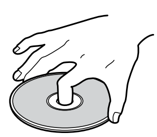
■取り扱いかた

- ● 損傷のあるディスク（ひびやそりのあるディスク）は使用しないでください。
- ● ディスクの信号面にキズや汚れを付けないでください。
- ● ディスクに紙やシールを貼り付けないでください。
- ● のりなどがはみ出した場合、ディスクが取り出せなくなるなど故障の原因になります。**特に、レンタルディスクにおいてはラベルが貼ってある場合が多く、このような故障が起こる恐れがありますので、のりなどのはみ出しを確認してから、ご使用ください。**





■ディスクの持ちかた

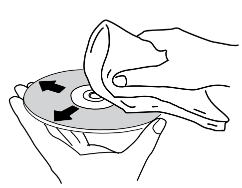
	LD	DVD、CD など
両手で持つ場合		
片手で持つ場合		

■保管

- ● 必ずケースに入れ、高温多湿の場所や直射日光の当たる場所、極端に温度の低い場所を避けて垂直に保管してください。
- ● ディスクに付いている注意書は必ずお読みください。

■ディスクのお手入れ

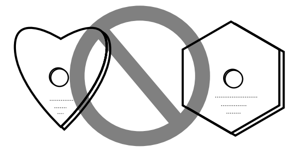
- ● ディスクに指紋やホコリが付いた場合、音質や画質が低下することがあります。柔らかい布で内周から外周方向へ軽く拭いてください。



- ● ベンジン、シンナーなどの揮発性の薬品は使用しないでください。またレコードスプレー、帯電防止剤などは使用できません。
- ● ディスクの清掃には別売のディスククリーニングセット（JV-D11）の使用をおすすめします。
- ● 汚れがひどい場合には、柔らかい布を水に浸し、よく絞ってから汚れを拭きとり、その後乾いた布で水気を拭きとってください。

特殊な形のディスクについて

本機では、特殊な形のディスク（ハート型や六角形等）は再生できません。故障の原因になりますので、そのようなディスクはご使用にならないでください。

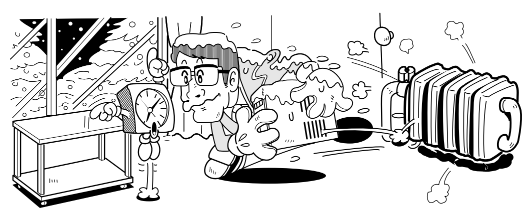


レンズクリーナーについて

ご使用中にホコリなどにより不具合が発生したときはアフターサービスの項（66ページ）をお読みの上、清掃をご依頼ください。なお、市販されているCDレンズクリーニングディスクには、レンズを破損するあるいはディスクが取り出せなくなるおそれがありますのでご注意ください。

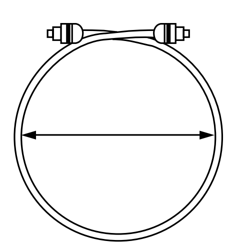
結露について

冬期などに本機を寒いところから温かい室内に持ち込んだり、本機を設置した部屋の温度を暖房などで急に上げたりすると、内部（動作部やレンズ）に水滴が付きます（結露）。結露したままでは本機は正常に動作せず、再生ができません。結露の状態にもよりますが、本機の電源を入れて1～2時間放置し、本機の温度を室温に保てば水滴が消え、再生できるようになります。
夏でもエアコンなどの風が、本機に直接あたると結露がおこることがあります。その場合は本機の設置場所を変えてください。



別売りの光ファイバーケーブル取扱上のご注意

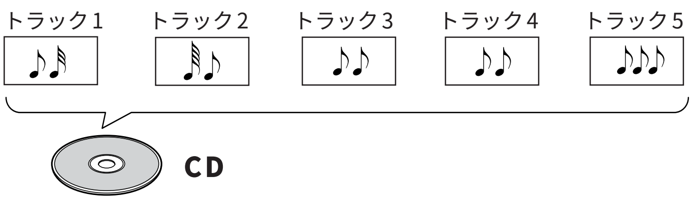
- ● 急な角度に折り曲げないでください。保管するときは、直径が15cm以上になるようにしてください。
- ● 接続の際はしっかり奥まで差し込んでください。
- ● 長さが3m以下のものを使用してください。
- ● プラグに傷やほこりが付着したときは、柔らかい布で拭いてから接続してください。



直径15cm以上

ディスクの構成について

CD やビデオ CD ではディスクをトラックという単位で分けています。（一般的には 1 曲が 1 つのトラックに対応しています。また更にトラックがインデックスという単位で別れている場合もあります。）

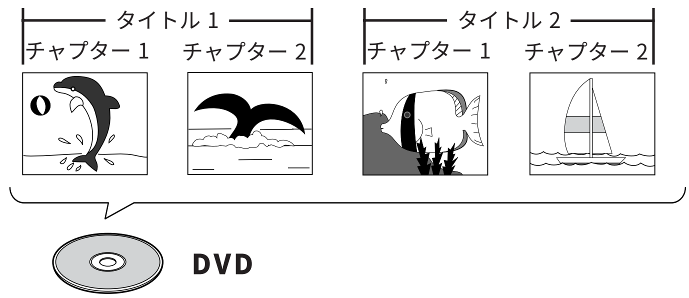




LD ではディスクをチャプターという単位で分けています。LD の内容をどのようなチャプターに分割しているかは、それぞれのディスクによって異なります。



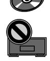
DVDではディスクをタイトルという単位で分け、さらにタイトルをチャプターという単位で分けています。また、メニュー画面はどのタイトルにも属しません。映画などではふつう 1 つの映画が 1 つのタイトルに対応しています。カラオケディスクでは 1 曲が 1 タイトルとなっています。ただしこのような区切りになっていないディスクもありますので、サーチ機能やプログラム機能を使用する際にはご注意ください。



ディスクの操作について

DVD ディスクでは、ディスク制作者の意図により、特定の操作を禁止しているものがあります。このためディスクによって操作方法が異なったり、特定の操作ができないことがあります。パイオニアのDVDプレーヤーではディスクによって禁止されている操作をしたときは画面に禁止マークを表示します。また、メニューや再生中の操作によって対話的な操作が可能になっているようなディスクでは、ディスク全体が連続的でなく枝別れがあるため、リピートやプログラムなどの一部の操作ができないことがあります。このような場合もパイオニアの DVD プレーヤーでは画面に禁止マークを表示します。

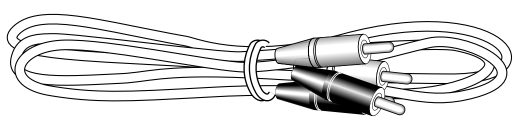
ディスクによる禁止マーク 

プレーヤーによる禁止マーク 

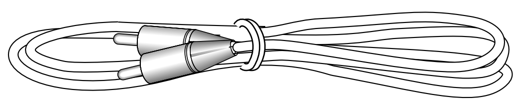
ご使用のまえに

付属品を確認しよう

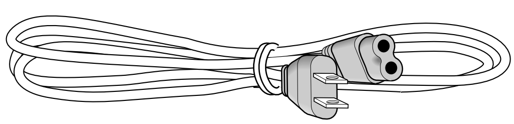
オーディオコード



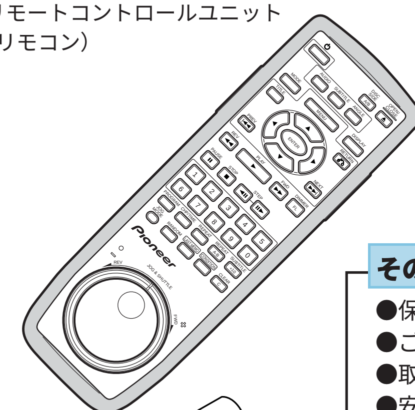
ビデオコード

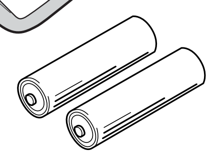


電源コード



リモートコントロールユニット
（リモコン）





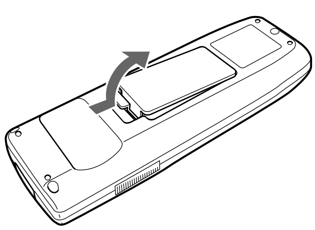
単３形（R6P）
乾電池……2 個

その他一緒に入っているもの

●保証書
●ご相談窓口・修理窓口のご案内
●取扱説明書（本書）
●安全上のご注意

リモコンに電池を入れる

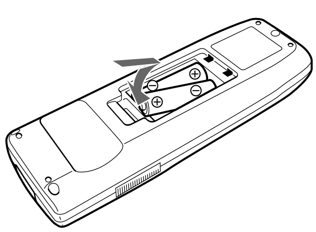
1



裏ブタのつまみを押しながら矢印の方向へ引く

● フタが開きます。

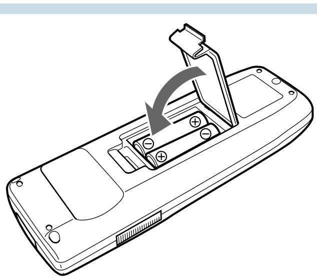
2



単３形乾電池を入れる

● 乾電池のプラス（+）とマイナス（−）の向きを、乾電池の表示通りに入れてください。

3



フタを閉める

注意！

◆新しい乾電池と一度使用した乾電池を混ぜて使用しないでください。
◆乾電池は同じ形状のもので電圧の異なるものがあります。種類の違う乾電池を混ぜて使用しないでください。
◆長い間（1ヵ月以上）使用しないときは、乾電池の液漏れを防ぐために乾電池を取り出してください。
もし、液漏れを起したときは、ケース内についた液をよくふきとってから新しい乾電池を入れてください。

準備

接続のしかた

各部の名称

本機の接続に関する注意

本機はアナログコピープロテクト方式のコピーガードに対応しています。
そのため本機を VTR を通してテレビに接続したり VTR で録画して再生をすると、
正常な再生画像が得られない場合があります。

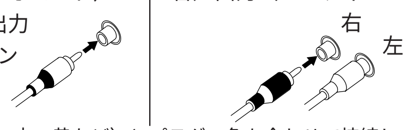
本機には大きく分けて 2 種類の映像出力方法があります。
1. S2 映像出力、映像出力（接続例 1、2 と 3）
2. コンポーネント映像出力（接続例 4）
接続した映像出力に合わせて、本機のメニュー操作により映像の出力設定をしてください。
（お買い上げ時の設定は、S2 映像 / 映像出力です。）
接続方法と設定が異なると、映像が正しく出力されません。

接続のしかた

機器の接続を行う場合、あるいは変更を行う場合には、必ず電源スイッチを切り、電源コードをコンセントから抜いてください。
接続する機器（AV アンプ、テレビなど）の取扱説明書も併せてご覧ください。

映像出力（ビデオコード）
同軸デジタル出力
（ビジュアルピンケーブル）

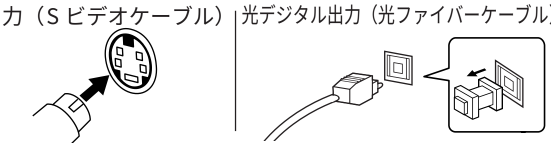
音声出力（オーディオコード）



● 端子の色（白、赤、黄など）とプラグの色を合わせて接続します。

S2 映像出力（S ビデオケーブル）

光デジタル出力（光ファイバーケーブル）



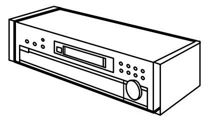
● S 映像入力へは、本機の S2 映像出力を接続してください。

- 13～16 ページの接続図中の接続コードは、おすすめの接続を濃い色（▬）で示してあります。おすすめの接続ができない場合は、薄い色（▬）の接続をしてください。
- DVD では、ディスクにより多様な音声方式があります。接続後、停止中に本機のメニューの「出力設定」（36、37 ページ）を合わせてください。

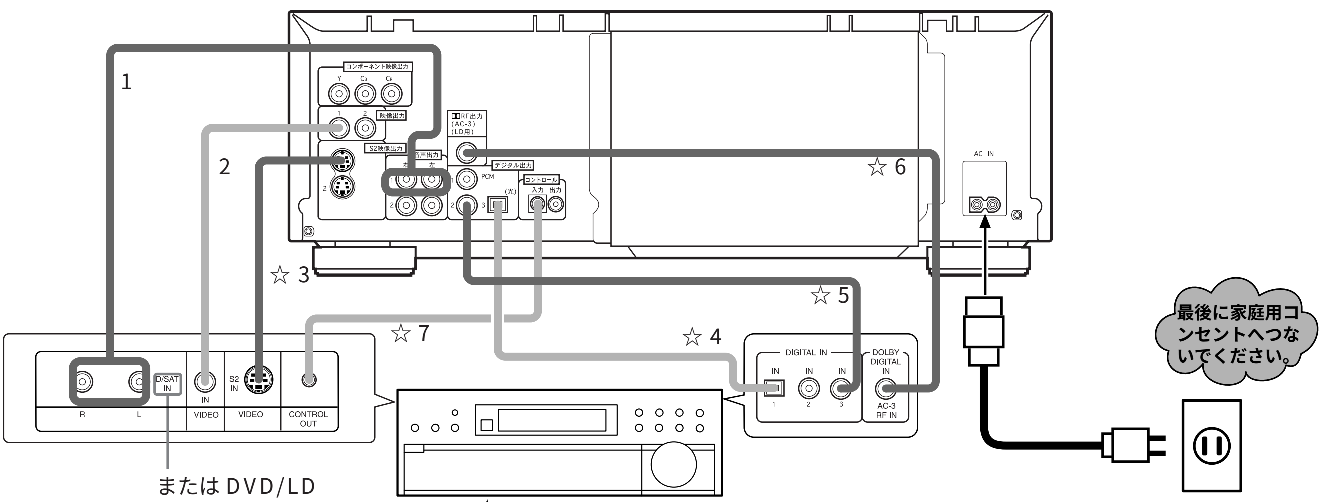
- お手持ちの機器により、接続方法が異なります。
接続する機器に該当するページをご覧ください（下表参照）。

本機と接続する機器	参照する接続例	本機の出力設定 （お買い上げ時の設定内容から変更する項目です。詳しくは 36、37 ページをご覧ください。） 本機の出力設定をお買い上げ時の設定に戻す方法については 31 ページを参照してください。
ドルビーデジタルデコーダー内蔵 AV アンプ	**接続例 1**（13 ページ）	**お買い上げ時の設定のまま**
DTS デコーダー内蔵 AV アンプ	**接続例 1**（13 ページ）	**「DTS」の項を「オン」にする**
MPEG デコーダー内蔵 AV アンプ	**接続例 1**（13 ページ）	**「MPEG」の項を「MPEG」にする**
D/A コンバーター内蔵 AV アンプ	**接続例 2**（14 ページ）	**「DOLBY DIGITAL」の項を 「DOLBY DIGITAL → PCM」にする**
上記以外の AV アンプまたはステレオアンプ	**接続例 2**（14 ページ）	**お買い上げ時の設定のまま**
映像入力端子のあるテレビ	**接続例 3**（15 ページ）	**お買い上げ時の設定のまま**
コンポーネント入力端子を持ったテレビ	**接続例 4**（16 ページ）	**「映像出力」の項を「コンポーネント」にする**

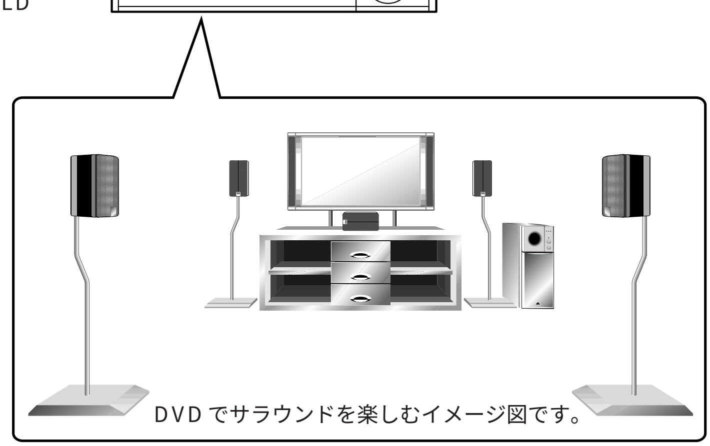
- **パイオニアの SR マーク付きの機器と接続する場合は**
市販のミニプラグ付きケーブル（抵抗なし）を使って、本機のコントロール入力端子と SR マーク付きの機器のコントロール出力端子を接続すると、システムとして本機もコントロールできます。
- このシステムコントロール接続をすると、本機に向けてリモコンで直接操作することはできません。接続した機器（AV アンプなど）にリモコンを向けて操作してください。
- システムとしてコントロールする場合は、**デジタル機器しか使用しない場合でも、必ずアンプとオーディオまたはビデオコードで接続してください。**
- 詳しくは接続した機器の取扱説明書をご覧ください。

接続例 1		
デコーダー内蔵 AV アンプ		以下のいずれかのデコーダーを内蔵したAVアンプのデジタル入力に接続する場合です。 ・ドルビーデジタル（AC-3）デコーダー ・DTS デコーダー ・MPEG デコーダー ● 接続したAVアンプに合わせて、停止中にメニュー画面でデジタル出力の設定をしてください。（36、37 ページ）

● 本機のデジタル出力端子（同軸デジタル出力 2 または光出力）とデコーダー内蔵アンプのデジタル入力（ドルビーデジタル(AC-3)、DTS、MPEG)端子を接続します。本機の同軸デジタル出力端子 2 を使用するか光出力端子を使用するかは、アンプの入力端子によって選択してください。
● ドルビーデジタルデコーダー内蔵アンプの場合は、本機の RF 出力（LD 用）をドルビーデジタル（AC-3）RF 入力端子へ接続します。
● LD のアナログオーディオはデジタル出力されませんので、本機の音声出力端子とアンプの音声入力端子も接続してください。
● **本機のメニューで、映像出力を「(S) 映像」に設定します（お買い上げ時の設定です)。**（37 ページ）
● **お手持ちのテレビに合わせてアスペクトの設定をしてください。**（35 ページ）。



本機の映像出力およびS2 映像出力のどちらか一方をアンプに接続するだけでかまいません。



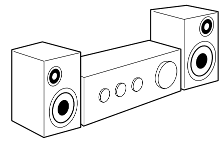
1	オーディオコード（付属）
2	ビデオコード（付属）
☆ 3	Ｓビデオケーブル
☆ 4	光ファイバーケーブル
☆ 5, 6	ビジュアルピンケーブル
☆ 7	ミニプラグ付きケーブル（3.5 φ、抵抗なし）

注意！

☆のケーブルは市販のケーブルをご利用ください。
DTS音声を再生すると、音声出力端子と同軸デジタル出力端子1（PCM）からは音は出ません。

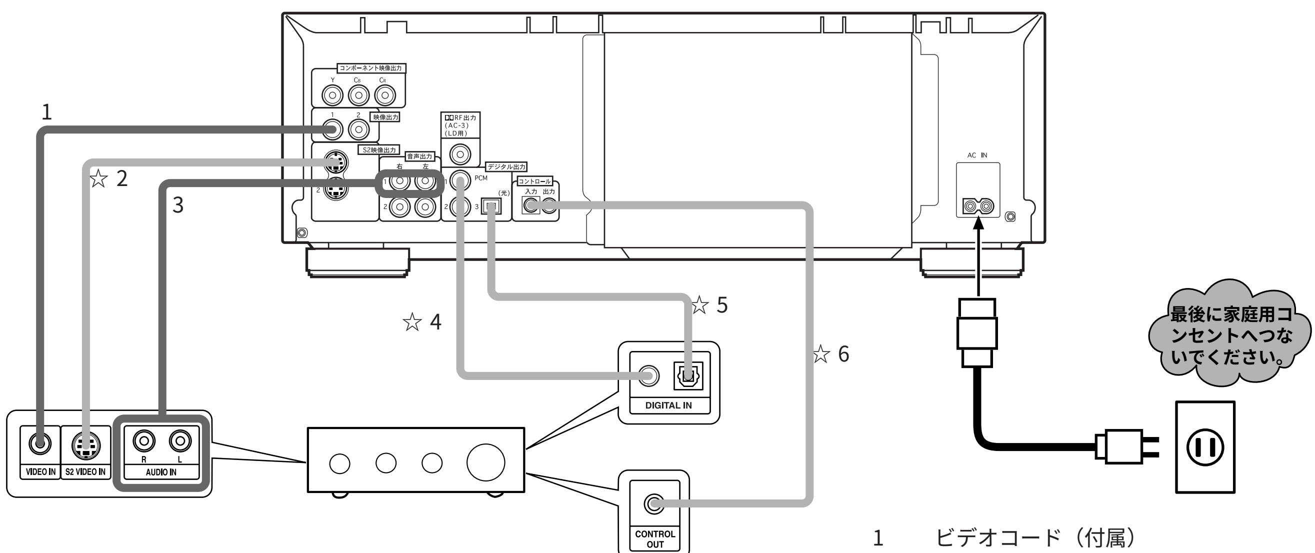
接続のしかた

接続例 2
デコーダーを内蔵しない AV アンプと D/A コンバーター内蔵 AV アンプ



通常の AV アンプやステレオアンプ、または D/A コンバーター内蔵アンプに接続する場合です。

- 本機の音声出力端子とアンプの CD、LD、AUX などの音声入力端子を接続します。（PHONO 端子には接続しないでください）
- 本機の映像出力端子とアンプの映像入力端子を接続します。映像出力または S2 映像出力、どちらか一方でかまいません。デジタル出力を接続する場合は、同軸デジタル出力 1（PCM）または光デジタル出力のどちらか一方でかまいません。
- LD のアナログ音声はデジタル出力されませんので、本機の音声出力端子とアンプの音声入力端子も接続してください。
- **本機のメニューで、映像出力を「（S）映像」に設定します（お買い上げ時の設定です）。**（37 ページ）
- **お手持ちのテレビに合わせてアスペクトの設定をしてください。**（35 ページ）。
- ドルビープロロジックに対応したアンプでは、サラウンドを楽しむことができます。

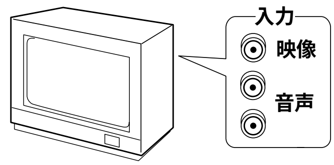


1	ビデオコード（付属）
☆ 2	S ビデオケーブル
3	オーディオコード（付属）
☆ 4	ビジュアルピンケーブル
☆ 5	光ファイバーケーブル
☆ 6	ミニプラグ付きケーブル（3.5 φ、抵抗なし）

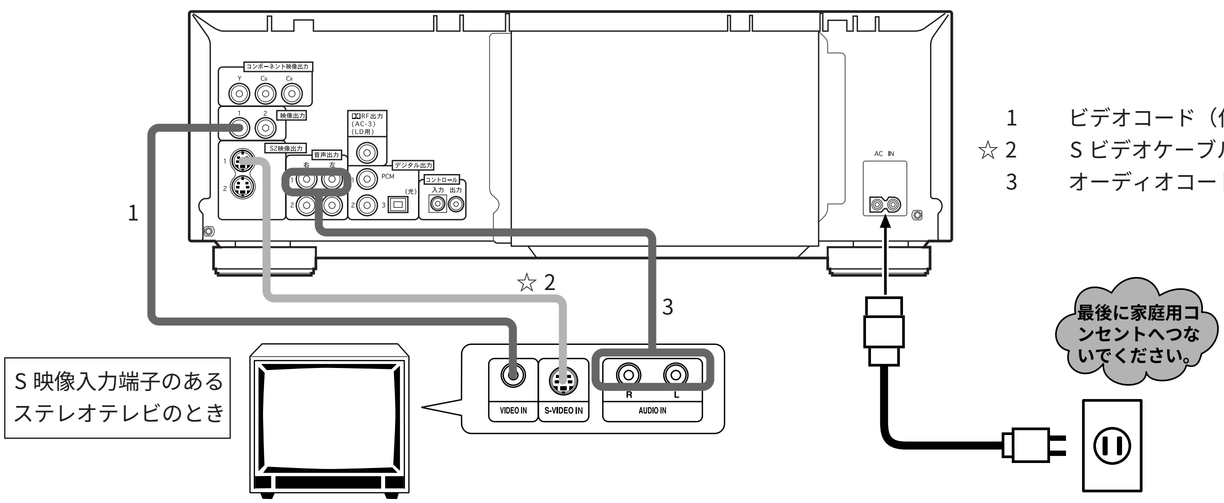
注意！

☆のケーブルは市販のケーブルをご利用ください。

お手持ちのテレビに合わせて接続例 3 または 4 から選んでください。

接続例 3 **映像入力端子のあるテレビ**		テレビに映像入力があり、この端子が空いていれば、この接続方法がもっとも簡単です。 ● **お手持ちのテレビに合わせてアスペクトの設定をしてください。**（35 ページ）

- 端子の色（白、赤、黄）とプラグの色を合わせて接続します。
- テレビの S2 映像入力端子と本機の S 映像出力端子を接続することにより、さらに鮮明な映像を楽しむことができます。
- **本機のメニューで、映像出力を「（S）映像」に設定します（お買い上げ時の設定です）。**（37 ページ）



1　ビデオコード（付属）
☆ 2　S ビデオケーブル
3　オーディオコード（付属）

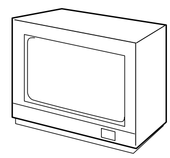
●接続するテレビ（モニターテレビ）の取扱説明書も併せてご覧ください。

注意！

☆のケーブルは市販のケーブルをご利用ください。

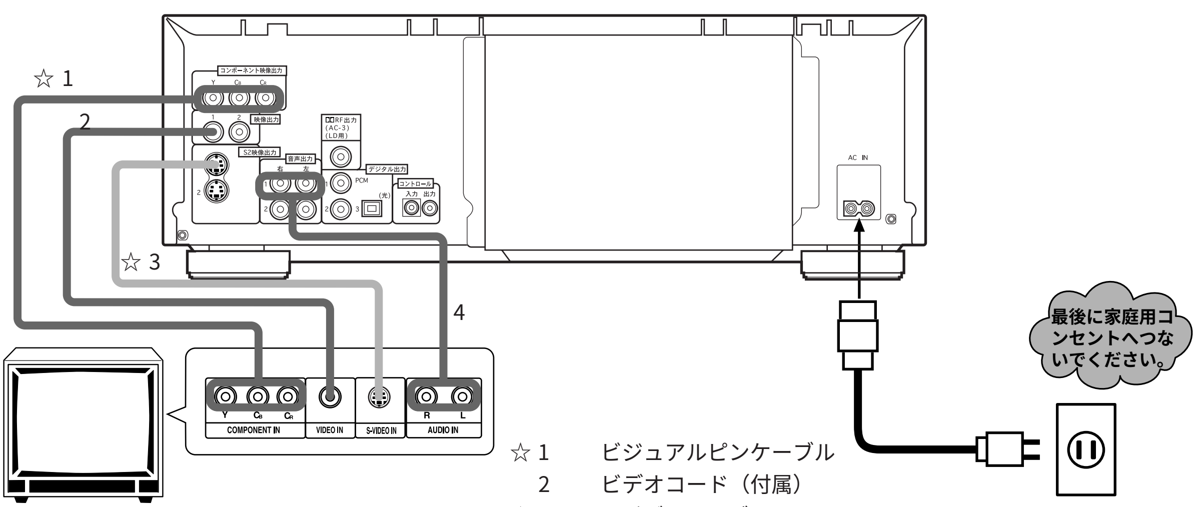
接続のしかた

接続例 4
コンポーネント入力端子を持ったテレビ



コンポーネント入力を持ったテレビを使うとより良い映像でお楽しみいただけます。
ハイビジョンテレビの色差入力（Y、P_B、P_R）とは接続できない場合があります。

- 映像入力として、コンポーネント入力端子を持っているテレビと組合せて使用できます。より高画質な再生が楽しめます。
- コンポーネント入力端子の名称はテレビによって異なります。
- LD の映像はコンポーネント映像出力端子からは白黒で出力されます。付属のビデオコードで映像出力端子も必ず接続してください。
- **本機のメニューで、映像出力を「コンポーネント」に設定します。**（37 ページ）
  コンポーネント出力を選ぶと、映像出力と S2 映像出力端子の映像はモノクロ画面になります。
- 画像の色が薄くなったり、色相がかわったりしたときはテレビ側で調整してください。



☆ 1　ビジュアルピンケーブル
2　ビデオコード（付属）
☆ 3　S ビデオケーブル
4　オーディオコード（付属）

●接続するテレビ（モニターテレビ）の取扱説明書も併せてご覧ください。

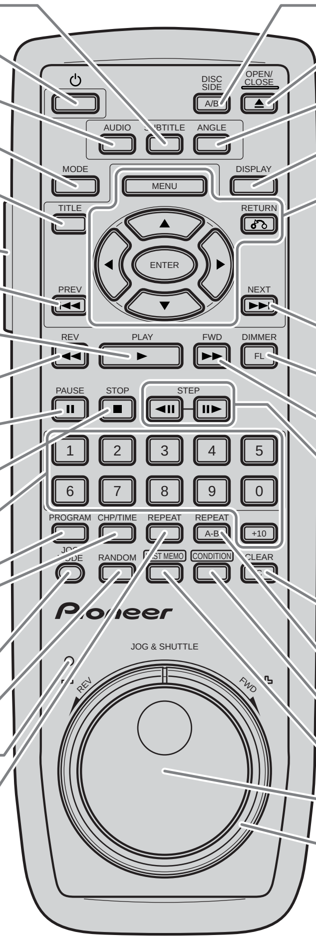
注意！

接続するテレビによっては、映像入力（コンポーネント、S映像、映像（コンポジット））に応じて自動的に入力の切り換えを行うものがあります。このようなテレビの場合は、別々の映像入力端子へ接続してください。
☆のケーブルは市販のケーブルをご利用ください。

各部の名称

■リモコン

（　　）内の数字は、そのボタンの使いかたを説明してあるページです。



SUBTITLE（字幕切換）ボタン（44）
⏻（電源）ボタン（22、24）
AUDIO（音声切換）ボタン（43）
MODE（モード）ボタン（38）
TITLE（タイトル）ボタン（23, 49）
ライティングボタン（18）
PREV⏮（前）ボタン（23, 25, 29, 50）
PLAY▶（再生）ボタン（23, 25）
REV◀◀（早戻し）ボタン（25）
PAUSE⏸（一時停止）ボタン（53, 56）
STOP■（停止）ボタン（26）
1～9，0，+10（数字）ボタン
PROGRAM（プログラム）ボタン（52）
CHP/TIME（チャプター/タイム）ボタン（50）
JOG MODE（ジョグモード）ボタン（56）
RANDOM（ランダム）ボタン（55）
ジョグモードインジケーター（56）
REPEAT（繰り返し）ボタン（54）

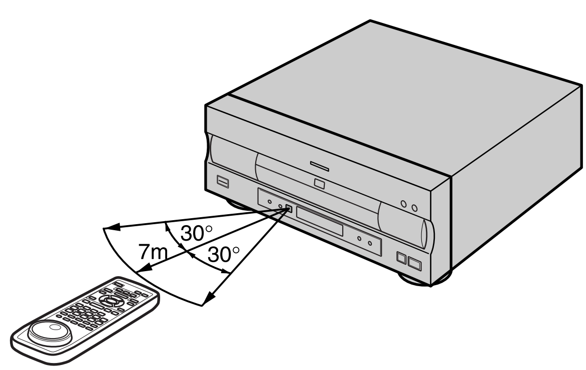
DISC SIDE A/B（ディスクサイド）ボタン（25）
OPEN/CLOSE ⏏（開/閉）ボタン（22, 24）
ANGLE（アングル切換）ボタン（44）
DISPLAY（画面表示）ボタン（45）
☆ メニュー操作ボタン（23, 28, 29）
MENU（メニュー）ボタン
RETURN↶（リターン）ボタン
◀・▶・▲・▼（方向）ボタン
ENTER（実行）ボタン
NEXT ⏭（次）ボタン（23, 25, 29, 50）
FL DIMMER（表示部消灯）ボタン（20）
FWD▶▶（早送り）ボタン（25）
STEP◀II・II▶（ステップ）ボタン（57）
CLEAR C（クリア）ボタン（42, 50, 53, 55）
REPEAT A-B（2点間繰り返し）ボタン（54）
CONDITION（コンディション）ボタン（42）
LAST MEMO（ラストメモリー）ボタン（48）
ジョグダイヤル（56）
シャトルリング（25）

☆ 印の付いたボタンは、メニュー操作を行うためのボタンです。

リモコンの操作

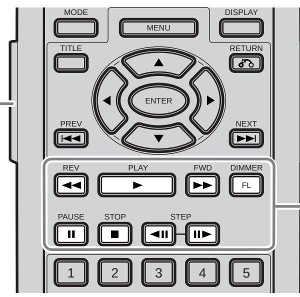
リモコンはプレーヤー本体前面部のリモコン受光部に向けて操作します。プレーヤーからリモコンの距離は7m以内、またリモコン受光部を基準にして上下左右30°までの範囲で操作できます。

- リモコン受光部に直射日光や蛍光灯などの強い光が当たると、誤動作することがあります。
- 後面のコントロール入力端子が他の機器に接続されている場合（12～14ページ参照）は、その機器のリモコン受光部に向けて操作してください。本機に向けては操作できません。



各部の名称

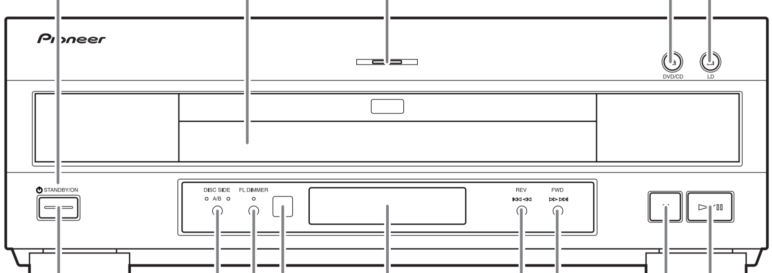
ライティングボタンについて



ライティングボタンを押すと左図に示した部分が約 3 秒間点灯します。

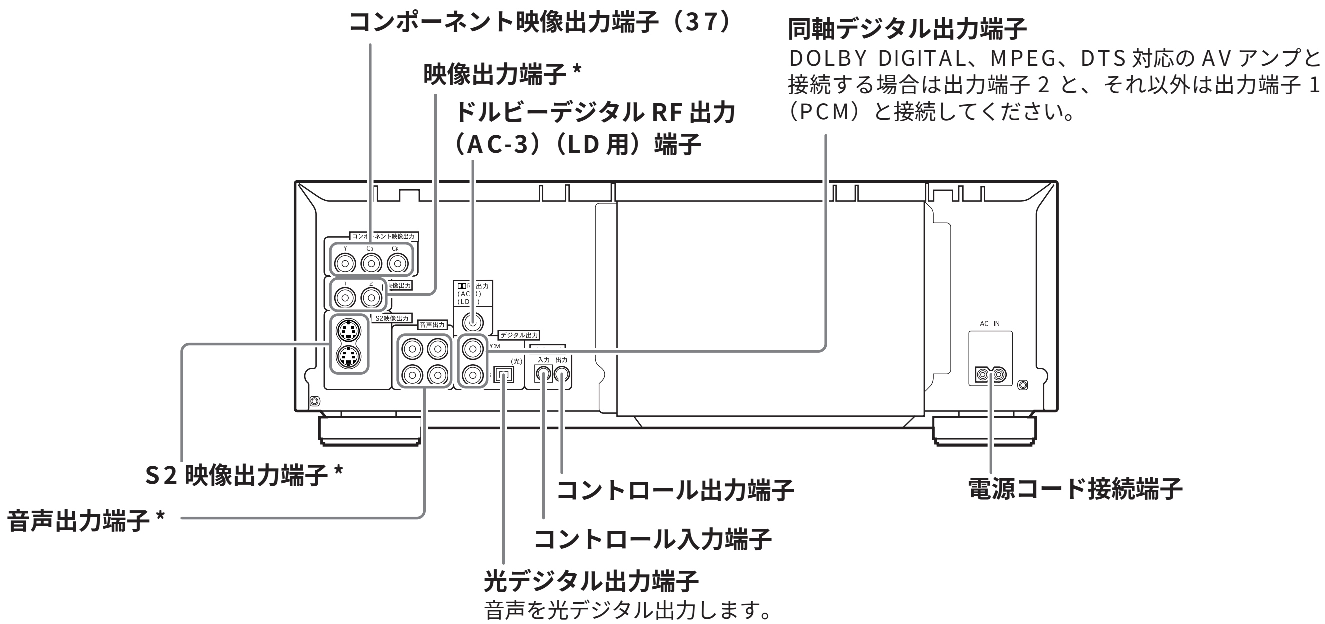
■前面部

(　　) 内の数字は、そのボタンの使いかたを説明してあるページです。



■後面部

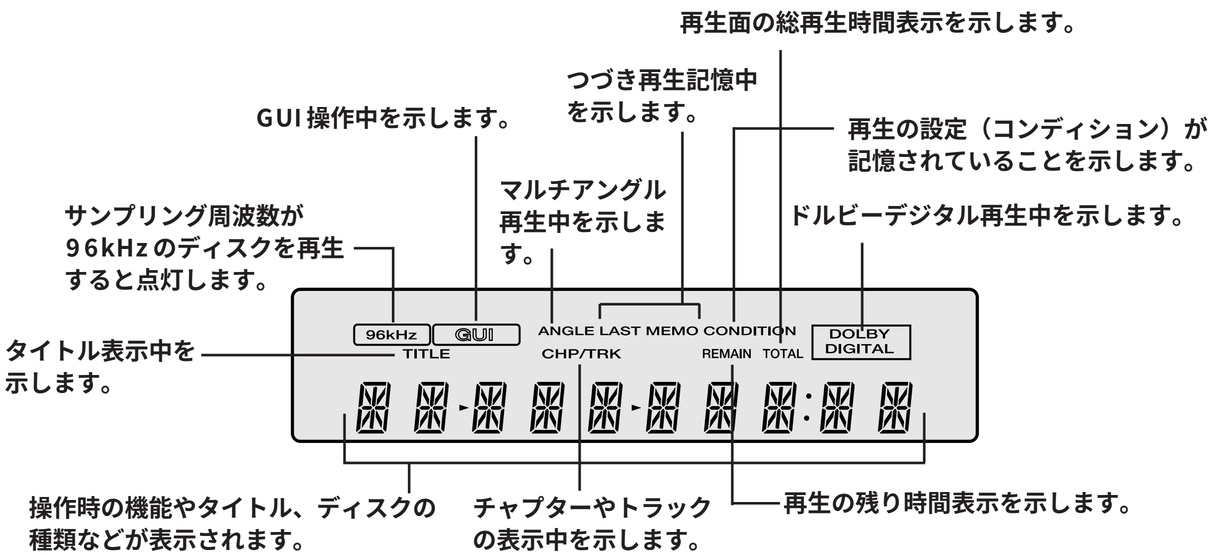
デジタル出力端子〔同軸〕（光）について
音声をデジタル出力します。お手持ちのアンプに合わせてデジタル出力の設定を行ってください。（36、37 ページ）



* 1 と 2 があり、2 系統同時接続ができます。
たとえば、1 をテレビに接続し、2 を AV アンプに接続することができます。

■表示部

FL DIMMER（表示部消灯）ボタンを押すと、次のように表示部の明るさが変わります。
明るい→少し暗い→暗い→消灯（FL OFF）
↑



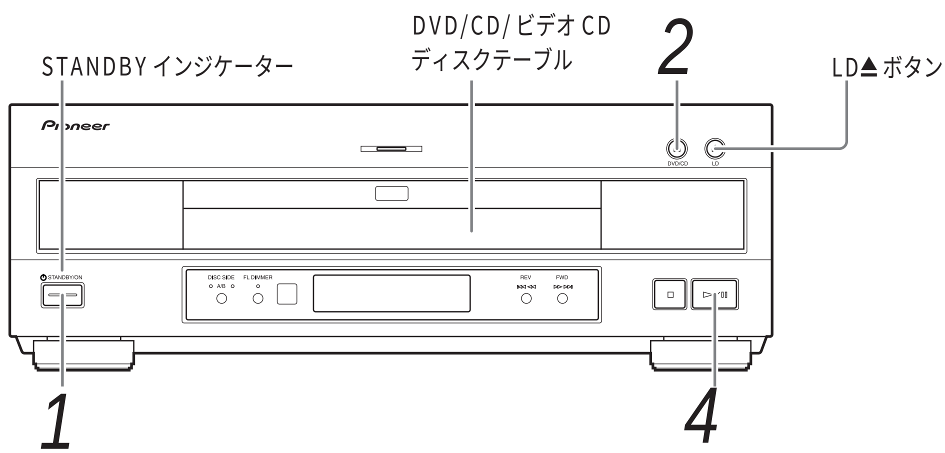
基本操作

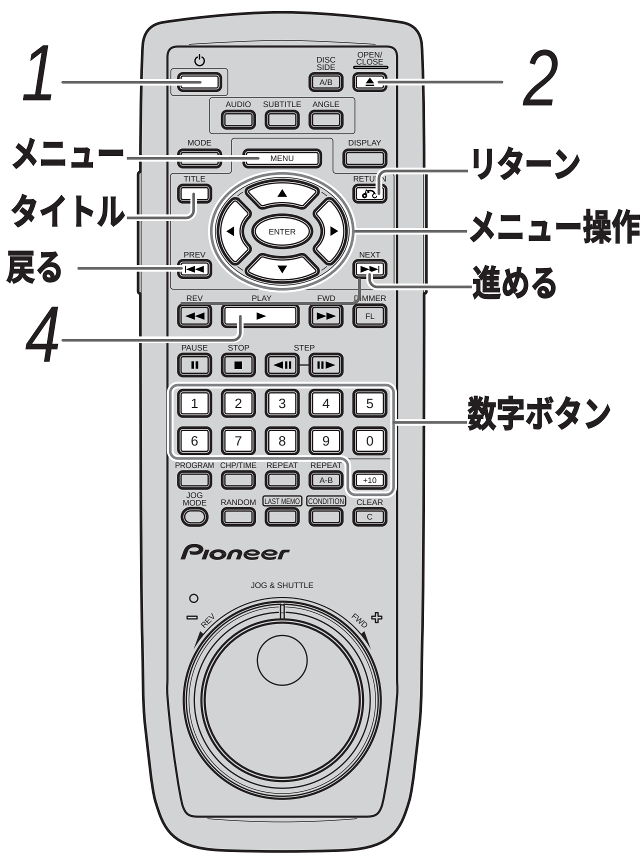


DVD/CD/ビデオ CD を再生する

メモ

- テレビの電源を入れ、テレビの入力を DVD が映るポジション（VIDEO など）にします。
- ステレオ機器と接続しているときは、それらの電源を入れます。
- **ワイド画面対応で記録された DVD を再生するときは、お手持ちのテレビに合わせてアスペクトの設定をしてください。**（35 ページ）





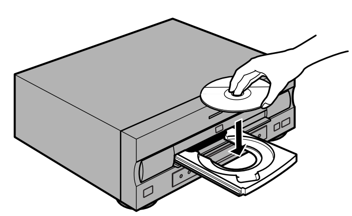
1 ⏻ (電源)ボタンを押す

- 電源が入り、STANDBY インジケーターが消えます。

2 DVD/CD ▲（開／閉）ボタンを押す

- DVD/CD/ビデオ CD 用のディスクテーブルが出ます。
- リモコンの OPEN/CLOSE ▲ を押した場合は、LD 用の大きなディスクテーブルごと出てくる場合があります。詳しくは次ページをご覧ください。

3 レーベル面を上にして、ガイドに合わせてディスクを置く



- ▲ボタンを押すとディスクテーブルが閉まります。ディスクによっては、自動的に再生が始まります。

4 ►/II（再生 / 一時停止）ボタンを押す

● リモコンの場合は PLAY ► を押します。
● 再生が始まります。
● ディスクによっては、メニュー（選択画面）が表示されます。メニューが表示された場合は、「メニュー画面が表示されたとき」（このページ）にしたがって操作してください。

ポイント

●本体の DVD/CD▲ ボタンを押すと、DVD/CD/ ビデオ CD 用のディスクテーブルだけが出てきます（図 1）。
本体の LD▲ ボタンを押すと、ディスクテーブル全体（LD 用のディスクテーブルを含む）が出てきます（図 2）。

図 1

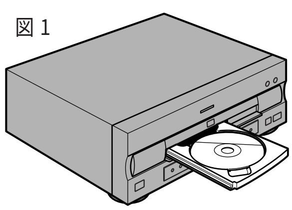
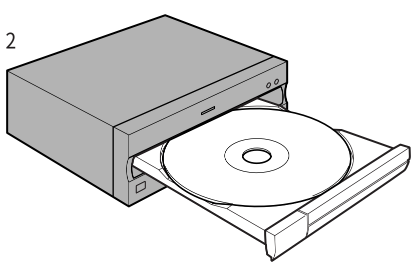


図 2



●電源を入れて 最初にリモコンの OPEN/CLOSE ▲ を押した場合は、ディスクテーブル全体が出てきます。
電源を入れたあと本体のボタンでディスクテーブルを出した場合、次にリモコンの OPEN/CLOSE ▲ を押すと、最後に出し入れしたディスクテーブルが出てきます。
●ディスクはガイドに合わせてきちんと置いてください。

メニュー画面が表示されたとき

●リモコンで操作します。
メニュー画面付き DVD やプレイバックコントロール（PBC）付きビデオ CD では、メニュー画面が表示されます。

例 メニュー画面付き DVD のとき

1 ポップス
2 ジャズ
3 演歌
4 カラオケ
5 クラシック

例 プレイバックコントロール付きビデオ CD のとき

1 ポップス
2 ジャズ
3 演歌
4 カラオケ
5 クラシック

メニュー画面形式、操作方法はディスクによって異なるのでご注意ください。

見たい項目を選ぶ

● DVD の場合
▲ ▼ ◄ ► で選び、ENTER で決定します。

● ビデオ CD の場合
数字ボタンで決定します。
10以上を選ぶには、+10 ボタンを使います。
例：「23」を選ぶときは +10 +10 3 の順に押す。

ポイント

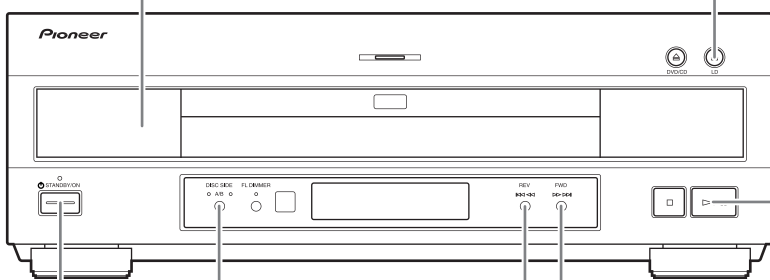
● **ビデオ CD をメニュー画面を出さずに再生するには**
ビデオ CD では、メニュー画面を出さずに再生することもできます。例えば、トラック 1 から再生するには、停止中に数字ボタンの 1 を押します。

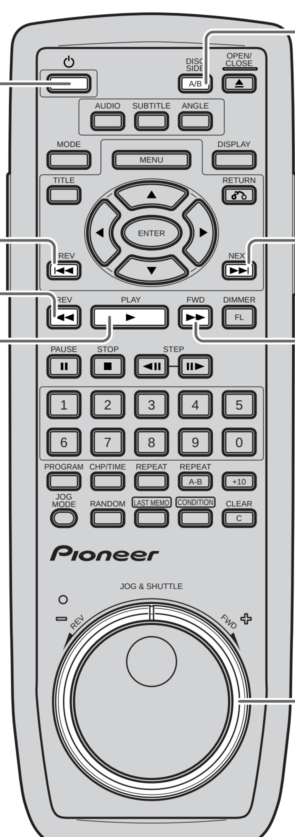
メモ

● **メニュー画面に戻すには**
ディスクによって異なりますが、TITLE 、MENU 、RETURN を、ビデオ CD 再生中は RETURN を押すと、メニュー画面に戻すことができます。
● ビデオ CD で複数のメニューがある場合、PREV NEXT ボタンでページの送り、戻しができます。

LD を再生する

メモ
- テレビの電源を入れ、テレビの入力を LD が映るポジション（VIDEO など）にします。
- ステレオ機器と接続しているときは、それらの電源を入れます。





1 ⏻ (電源)ボタンを押す

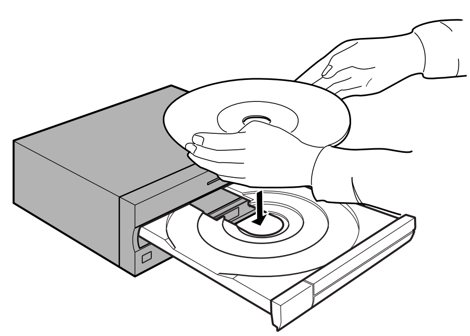
- 電源が入り、STANDBY インジケーターが消えます。

2 LD▲（開／閉）ボタンを押す

- ディスクテーブル全体が出ます。
- リモコンの OPEN/CLOSE ▲ を押した場合は、DVD/CD/ ビデオ CD 用のディスクテーブルだけが出てくる場合があります。詳しくは 23 ページをご覧ください。

3 ガイドに合わせてディスクを置く

- 見たいレーベル面を上にして置きます。



- ▲ボタンを押すとディスクテーブルが閉まります。

早送り、早戻しのしかた

4 ►/II（再生 / 一時停止）ボタンを押す

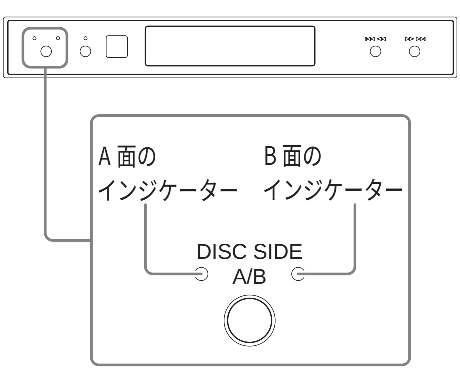
- リモコンの場合は［PLAY ►］を押します。
- 再生が始まります。
- 両面ディスクでは、上にした面を最後まで再生すると、続けて下にした面を再生します。

注意！

◆ディスクテーブルのガイドからはずれてディスクを置いたり、一度に 2 枚のディスクを置くと、ディスクを傷つけたり、本体の故障の原因になります。

ポイント

- LD の両面ディスクで A 面とはディスクテーブルに置いたときの上側をさし、B 面は下側をさします。ディスク自体に記録された A 面、B 面とは異なります。
- 本体の DISC SIDE A/B ボタンまたはリモコンの［DISC SIDE A/B］を押すごとに、A 面（SIDE A）、B 面（SIDE B）が切り換わります。
表示窓の左にあるインジケーターで、どちらの面が選ばれているかを確認できます。



次のチャプター（トラック）へ進む

［NEXT ►►|］（本体では ►► ►►| ボタン）を押す

- 次のチャプター（トラック）に進みます。

前のチャプター（トラック）へ戻る

［PREV |◄◄］（本体では |◄◄ ◄◄ ボタン）を押す

- 一度押すと再生しているチャプター（トラック）の初めに戻ります。さらに押すと、ひとつ前のチャプターに戻ります。

早送りのしかた（2 つの方法があります）

［FWD ►►］（本体では ►► ►►| ボタン）を押し続ける

- 目的のところまできたら［FWD ►►］を離します。通常の再生に戻ります。
- 画面で「スキャン」表示が点滅から点灯表示に変ったら、ボタンから手を離しても、早送りし続けます。目的のところまできたら［PLAY ►］を押してください。

リモコンのシャトルリングを右に回す

- 回す角度により、ふつうの速度から約 30 倍速まで変化します。手を離すと通常の再生に戻ります。

早戻しのしかた（2 つの方法があります）

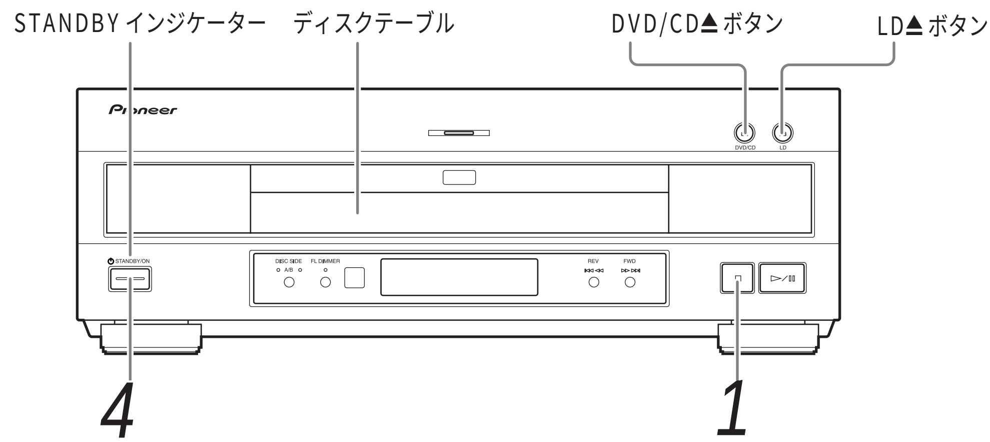
［REV ◄◄］（本体では |◄◄ ◄◄ ボタン）を押し続ける

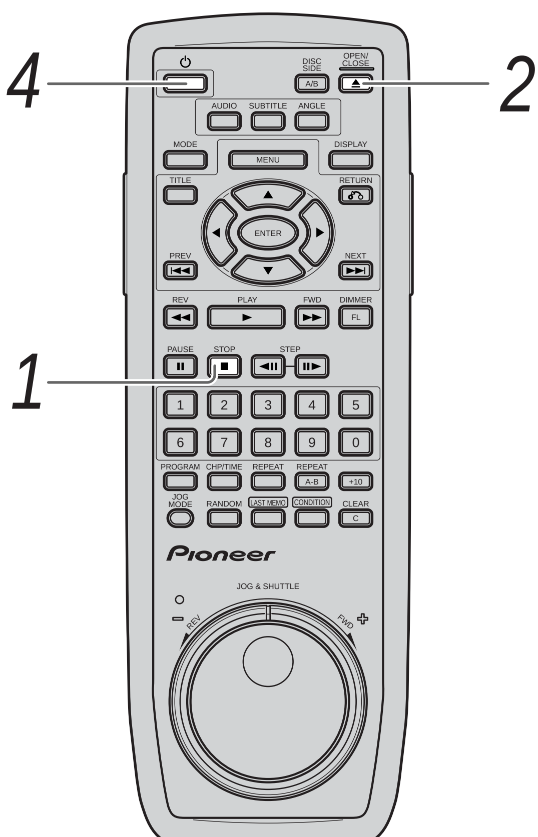
- 目的のところまできたら［REV ◄◄］を離します。通常の再生に戻ります。
- 画面で「スキャン」表示が点滅から点灯表示に変ったら、ボタンから手を離しても、早戻しし続けます。
- 目的のところまできたら［PLAY ►］を押してください。

リモコンのシャトルリングを左に回す

- 回す角度により、ふつうの速度から約 30 倍速まで変化します。手を離すと通常の再生に戻ります。

終了する





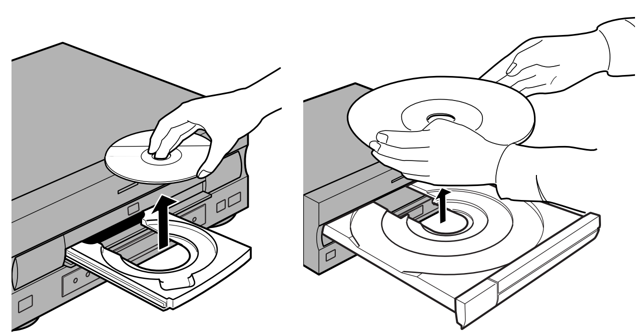
1　■（停止）ボタンを押す

● 再生が終わります。

2　▲（開／閉）ボタンを押す

● 本体で操作する場合は DVD/CD▲ボタンまたは LD▲ボタンを押します。
● ディスクテーブルが出てきます。

3　ディスクを取り出す



DVD/CD/ビデオCDのとき　　LDのとき

4　⏻（電源）ボタンを押す

● ディスクテーブルが閉まり、電源が切れて STANDBY インジケーターが点灯します。

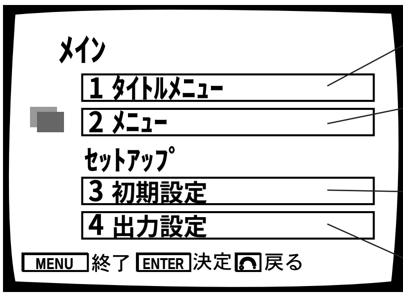
お好みに合わせた各種の設定



メインメニューについて

タイトルメニュー画面、メニュー画面、セットアップ画面を選ぶときの主（メイン）画面です。
ディスクをディスクテーブルにセットし、停止中に MENU を押します。（自動的に再生するDVDでは STOP ■ を押し、MENU を押します。）

例：
DVDの
場合



タイトルメニュー画面では：＊
タイトルを選んで再生することができます。（タイトルサーチ）

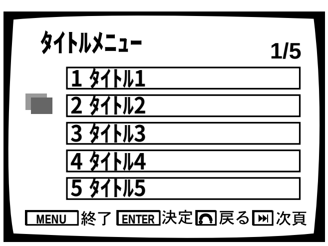
メニュー画面では：＊
タイトル中のチャプター（曲）、字幕、音声、アングルを選ぶことができます。

初期設定画面では：
本機の各種機能を画面表示で設定することができます。

出力設定画面では：
本機のデジタル出力端子から出力する音声や映像出力を選ぶことができます。

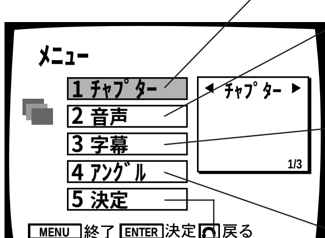
＊ メニューを収録しているディスクでは、ディスクによりメニュー操作が異なります。

タイトルメニュー画面について



タイトルを選んで再生できます。
49ページの「見たい場面を探す」と同じ選択画面です。

メニュー画面の内容



上記内容の変更を決定して終了します。

チャプター画面へ行く

チャプター画面では：
1つのタイトル中のチャプター（曲）を選んで再生することができます。

音声画面へ行く

音声画面では：
複数の音声言語や音声の種類の入ったディスクでは、音声の内容を選ぶことができます。

字幕画面へ行く

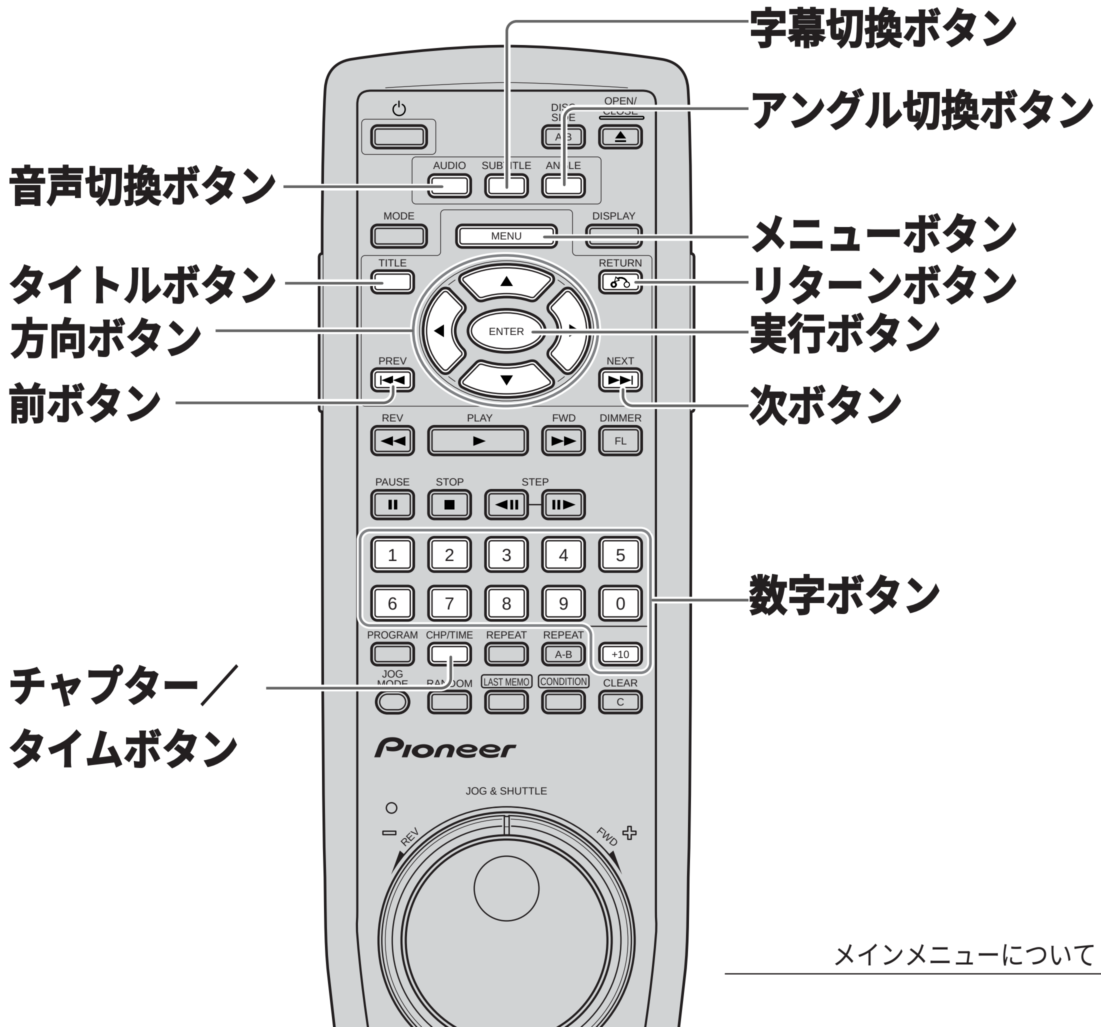
字幕画面では：
字幕情報の入ったディスクでは、字幕の内容を選ぶことができます。

アングル画面へ行く

アングル画面では：
さまざまな方向から映された映像が記録されたディスクでは、その中からお好みのものを選ぶことができます。

メニュー操作のしかた

ボタンの名称	ボタンのかたち	働き
メニューボタン	MENU	メニュー画面に入る、または終了する（設定した内容は無効になります）
リターンボタン	RETURN	1つ前のメニュー画面へ戻る（設定した内容は決定になります）ただし、タイトル画面、メニュー画面でのサーチは無効です。
数字ボタン	1 ～ 0 ・ +10	選択し決定する（セットアップメニュー内では項目によっては選択のみとして働く場合があります）
方向ボタン	▲ ▼ ◀ ▶	選択
実行ボタン	ENTER	決定し実行する（タイトル、チャプターの変更後は再生状態になります）
前ボタン	PREV	前のページへ
次ボタン	NEXT	次のページへ
直接メニューを出すボタン	TITLE CHP/TIME SUBTITLE ANGLE AUDIO	各メニューへ（移動前に設定した内容は無効になります）



準備
基本操作
お好みに合わせた各種の設定
応用操作
その他

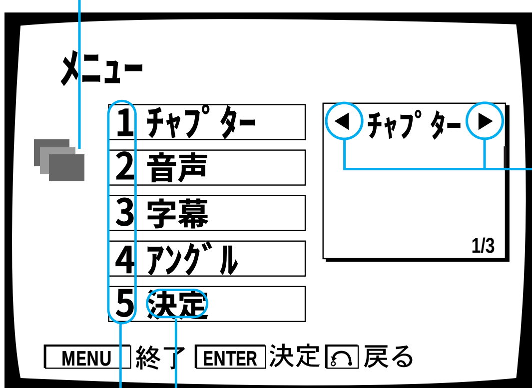
メインメニューについて

画面表示と操作の例

GUI（グラフィカルユーザーインターフェイス）

例 1:メニュー内での表示内容・ボタンのはたらき（例：DVD 時）

メニューの階層
：最上位
：中
：最下位



◄► マークがあるときは、 で設定内容が変えられます。

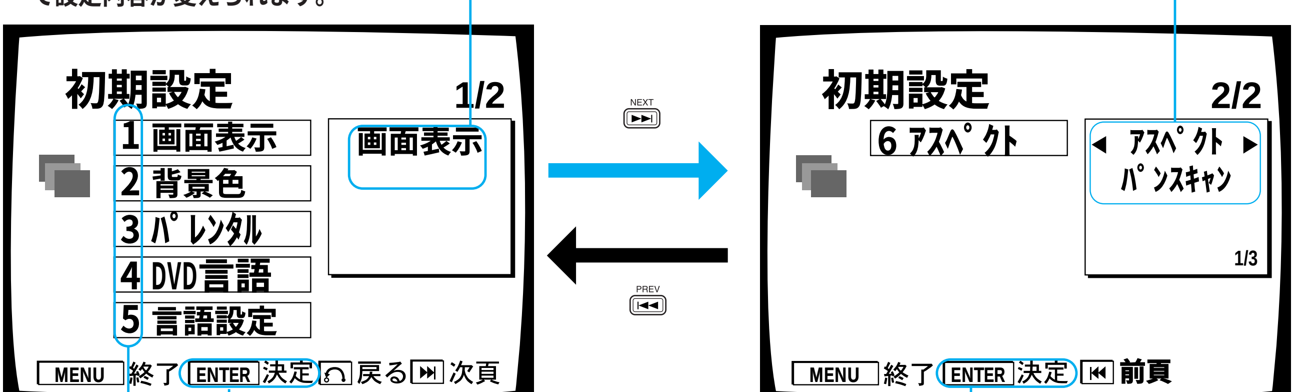
上記の内容を変更した場合、変更した内容に変わります。

項目番号
数字ボタンを押すか、または で選択し ENTER を押すと、各項目名の選択画面になります。ただし、「5 決定」は除く。

例 2:セットアップメニュー内での表示内容・ボタンのはたらき（例：DVD 時）

現在の設定状態
で項目番号を選択し、 で設定内容が変えられます。

現在の設定状態
◄► マークがあるときは、 で設定内容が変えられます。



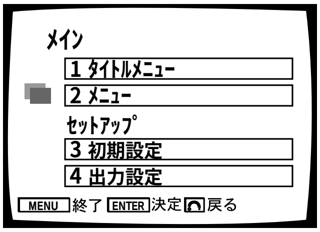
変更した内容に決定するときはこれを選択

項目番号
数字ボタンを押すか、または で選択して ENTER を押すと、各項目名の選択画面になります。

さまざまな設定を変更する

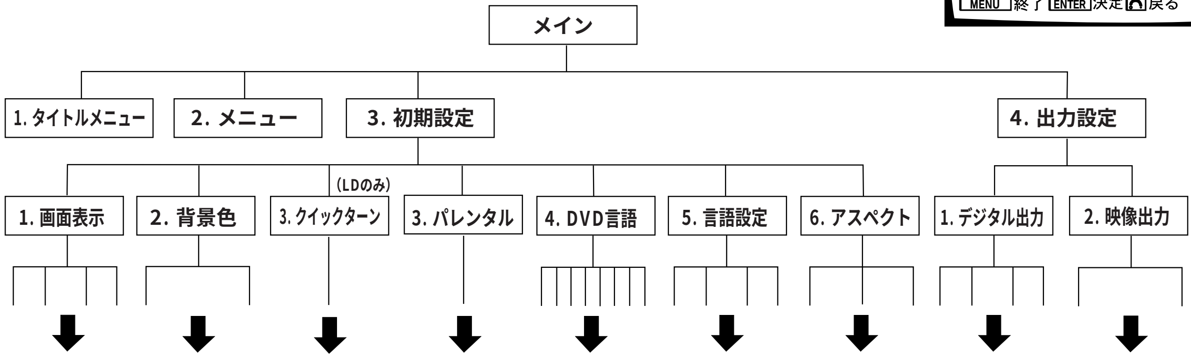
ディスクをディスクテーブルにセットし、停止状態で MENU を押す。

- メインメニュー画面になります。
- CD と LD の場合は、「初期設定」のみの画面になります。



メインメニュー画面のセットアップ（「初期設定」「出力設定」）で設定します。

各メニューへの入りかたの概略は下記の通りです。



お買い上げ時の設定に戻すには

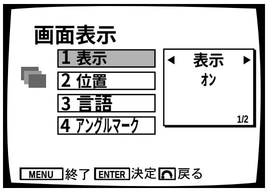
- 設定を変更した後に、全ての内容をお買い上げ時の設定に戻すには、電源を切り、本体の STOP ■ ボタン を押しながら 電源スイッチ を押してください。この場合、「画質・音質の設定」や「コンディションメモリー」、「ラストメモリー」、「パレンタルレベルの暗証番号」も消去されます。

初期設定

画面表示、背景色、クイックターン、パレンタルレベル、DVD 言語、言語設定、アスペクトの設定ができます。

- 各設定項目で、*付きの設定状態がお買い上げ時の設定です。

1. 画面表示



1. 表示：動作表示（プレイ、ストップなど）をする（オン）かしない（オフ）かを切り換えます。
   設定　：オン*（動作表示する）
   　　　：オフ（動作表示しない）

2. 位置：ワイドテレビで通常のソフトを見るときは、動作表示が画面の 外にはみ出して、表示が見えなくなることがあります。表示位置を変更することでワイドテレビでも動作表示を見ることができるようになります。
   設定　：ノーマル*（通常のテレビ（4：3）を使用するとき）
   　　　：ワイド（ワイドテレビを使用する場合（メニュー画面は対応していません。））

3. 言語：動作表示と各メニュー画面を日本語で表示するか英語で表示するかを選びます。
   設定　：日本語*（例）プレイ
   　　　：英語（例）PLAY

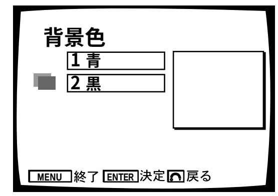
4. アングルマーク：アングルが記録された画面を再生しているときに （アングルマーク）を表示するかどうかを選びます。**（DVD のみ）**（44 ページ）
   設定　：オン*（ 表示）
   　　　：オフ（表示しない）

さまざまな設定を変更する

2. 背景色

停止状態の画面の色を、青色、黒色、いずれかお好みの色に設定できます。

　設定　：青*
　　　　：黒



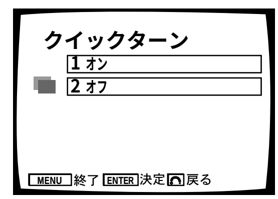
注意！

ディスクごとに背景色を変えることはできません。

(3.) クイックターン（LD のみ）

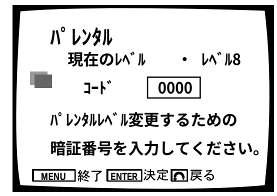
LD の両面ディスクを再生中、A 面から B 面、B 面から A 面への切り換わりの時間を短くするかどうかを設定します。
短くすると、リメイン、トータルの時間表示はできなくなります。

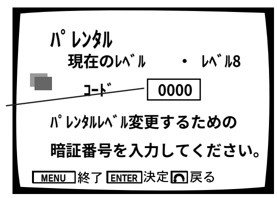
　設定　：オン*（切り換わり時間を短くする）
　　　　：オフ（切り換わり時間を短くしない）

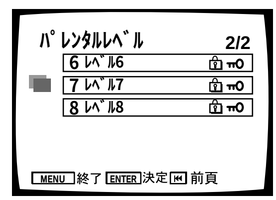


3. パレンタルレベル（DVD のみ）

視聴制限のことをいいます。映像内容によって視聴制限をかける機能です。
本機はディスクに視聴制限コードが記録してあれば、視聴制限（パレンタルロック）をかけることができます。パレンタルロック対応のディスクを再生したとき、暴力シーンなどの子供に見せたくない部分を飛ばして見ることができます。詳しくはディスクの説明書をお読みください。
一度暗証番号を設定すると、次回からは、その暗証番号を設定しないとレベルの変更はできません。
暗証番号は忘れないように控えておいてください。もし、忘れてしまったときは、初期状態に戻して再び設定できます。（31 ページ）

1


2


3～4


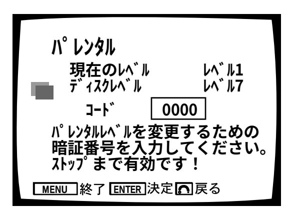
設定　：レベル 8 *～レベル 1

設定のしかた

1. ENTER を押す。
   - 暗証番号入力画面になります。
2. 数字ボタンで暗証番号を押し、ENTER を押す。
3. ▲▼ で 1 ～ 8 のレベルを選ぶ。
4. ENTER を押す。
   - ディスクに視聴制限が設定されます。

視聴制限が設定されたディスクを再生するには

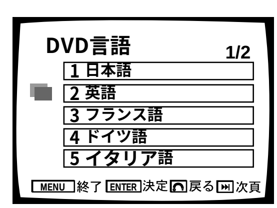
- PLAY ▶ を押して、再生を始めると、右の画面が表示されます。
- この画面で暗証番号を数字ボタンで押し、ENTER を押すと、再生が始まります。



4.DVD 言語（DVD のみ）

DVD によっては、同じ内容で言語のみ異なるディスクメニューを複数収録しているディスクがあります。
このようなディスクの場合、**DVD 言語**のメニューで、どの言語のメニューを表示するか選ぶことができます。
設定　：日本語*

　　　：各言語の中から方向ボタンで選び ENTER を押す。



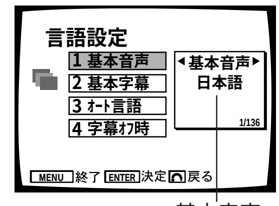
準備
基本操作
お好みに合わせた各種の設定
応用操作
その他

さまざまな設定を変更する

5. 言語設定（DVD のみ）

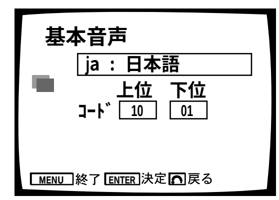
1. 基本音声：ディスクに入っている多くの言語の音声のうち、通常はどの言語の音声にするか選んでおくことができます。再生中に音声言語を変えた場合でも、ディスクを交換したときは、この設定で選んだ言語になります。

設定　：日本語*
　　　：136 種類の言語の中から選べます。



基本音声

- リモコンの を押して設定する言語を選びます。
- を押し、コード入力画面にします。
言語コード表（64 ページ）の入力コード（上位）、（下位）をご覧になり、設定する言語に該当する数字をリモコンの数字ボタン（10 以上は、+10 ボタンを使用）で設定します。



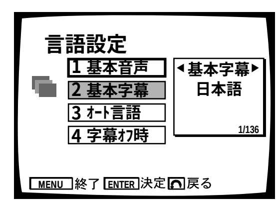
コード入力画面

ポイント

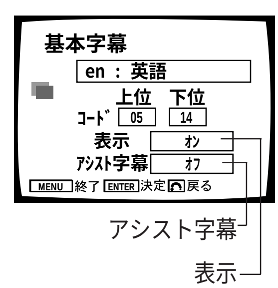
●ディスクによっては、言語設定をしてもディスクで設定された言語で再生されるものがあります。この場合は、ディスクのメニュー画面で設定を変更するか、42 ～ 43 ページを参照して設定を変更してください。

2. 基本字幕：ディスクに入っている字幕のうち、通常表示する字幕の言語を選んでおくことができます。再生中に字幕言語を変えた場合でも、ディスクを交換したときは、この設定で選んだ言語になります。

設定　：日本語*
　　　：136 種類の言語の中から選べます。

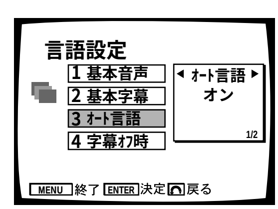


- リモコンの を押して設定する言語を選びます。
- を押し、コード入力画面にします。
言語コード表（64 ページ）の入力コード（上位）、（下位）をご覧になり、設定する言語に該当する数字をリモコンの数字ボタン（10 以上は、+10 ボタンを使用）で設定します。
- リモコンの または で表示を選び、 または で表示（オン）、表示しない（オフ）を選ぶことができます。
設定　：オン*
　　　　オフ
- ディスクによっては、耳の不自由な方などのために場面の状況を解説した字幕が記録されているものがあります。「アシスト字幕」をオンにすると、この字幕を優先して表示します。
設定　：オフ*
　　　　オン



3. オート言語

設定　：オン*（一般的な洋画では、オリジナル音声、日本語字幕が選択され、邦画では、オリジナル音声（日本語）が選択され、字幕は出ません。）
　　　：オフ（基本音声、基本字幕の設定になります。）

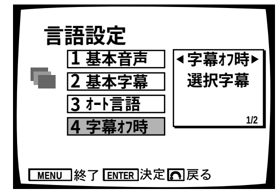


- リモコンの を押してオン、オフを選びます。

以下の場合は、オート言語機能は働きません。
- 基本音声と基本字幕が同じ言語ではない場合
- 基本字幕の表示オフが選択されている場合
- アシスト字幕のオンが選択されている場合

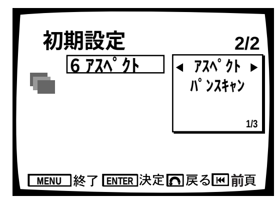
4. 字幕オフ時：字幕を非表示（オフ）にした時にディスクが強制的に表示する字幕を設定できます。
設定　：選択字幕*（選んだ字幕の言語になります。）
　　　：音声連動（選んだ音声の言語になります。）

● リモコンの を押して音声連動、選択字幕を選べます。

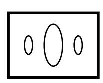
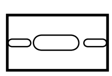
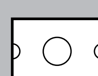
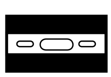
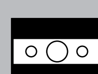
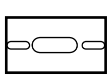
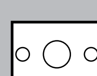


6. アスペクト（DVD のみ）

ワイド画面対応で記録されたソフトを見るときに、お使いのテレビに合わせて映像の縦横比を切り換えられます。
設定　：ワイド*
　　　：パンスキャン
　　　：レターボックス



アスペクト切換のできる DVD の場合にはテレビに合わせて切り換えてください。

ディスク	アスペクト切換	ワイドテレビ（16:9）	通常のテレビ（4:3）
16:9 ワイド画面ディスク	ワイド		
	パンスキャン		
	レターボックス		
通常画面ディスク			

● リモコンの を押してアスペクトを選べます。

● ワイドテレビでご覧になる場合は、通常はワイドを選びます。
● 通常のテレビでご覧になる場合は、通常はパンスキャンまたはレターボックスを選びます。
それぞれ、上の表の　部分です。

● アスペクトの切換ができるか、できないかはディスクによります。ディスクのジャケット等で確認してください。
● アスペクトの切り換えができないディスクの場合には、テレビ側で画面を調整してください。

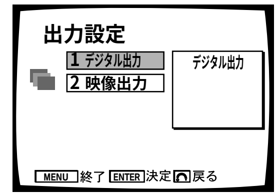
ポイント
●通常のテレビは横 4:縦 3、ワイドテレビやハイビジョンテレビは横 16:縦 9 の比率になっています。この横と縦の比率をアスペクト比と呼んでいます。

準備
基本操作
お好みに合わせた各種の設定
応用操作
その他

さまざまな設定を変更する

出力設定

デジタル出力と映像出力の設定ができます。



● 各設定項目で、*付きの設定状態が初期設定（お買い上げいただいたときの設定）です。

1. デジタル出力（DVD のみ）

音声の出力設定

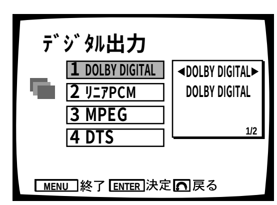
接続する機器に合わせて、出力設定を行います。

● ドルビーデジタルに対応している AV アンプでは、「DOLBY DIGITAL」の項を **DOLBY DIGITAL** にします。
● リニア PCM で、96kHz に対応している AV アンプでは、「リニア PCM」の項を **96kHz** にします。
● MPEG に対応している AV アンプでは、「MPEG」の項を **MPEG** にします。
● DTS に対応している AV アンプでは、「DTS」の項を**オン**にします。

注意！

お手持ちの機器がどれに対応しているかわからない場合は、変更しないでください。

● リモコンの ◀ ▶ を押してそれぞれの設定が選べます。



1. DOLBY DIGITAL：本機のデジタル出力端子から出力する音声を変更できます。DVD のドルビーデジタル音声（映画館などで使用されている立体的な音声）とリニア PCM（CD でおなじみのデジタル音声）を切り換えられます。

設定　：**DOLBY DIGITAL** *（ドルビーデジタル信号をそのまま出力します。（ドルビーデジタル（AC-3）デコーダーを搭載したアンプを使用するとき））

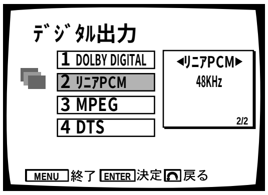
：**DOLBY DIGITAL → PCM**（ドルビーデジタルでもリニア PCM に対してでもリニア PCM 規格で出力します。（通常のアンプやドルビープロロジックアンプを使用するとき））

2. リニア PCM：**96kHz**（オーディオがサンプリング周波数 96kHz の PCM のときに、96kHz の高音質で再生することができます。サンプリング周波数 48kHz のときには、そのまま 48kHz での再生になります。）

48kHz（サンプリング周波数が 96kHz のディスクでも、48kHz に圧縮して再生します。48kHz は、そのまま 48kHz になります。）

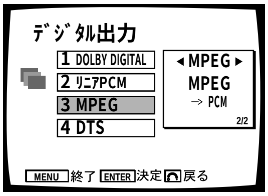
- ディスクに記録されているオーディオサンプリング周波数をお好みに合わせて、アナログ出力／デジタル出力とも同時に切り換ります。
- 96kHzDVD のフォーマット上、コピープロテクトされたディスクでは、96kHz を選択すると、デジタル出力端子から信号が出なくなります。

設定　：**48kHz***
　　　：**96kHz**



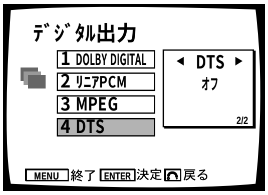
3. MPEG： MPEG 入力端子のあるアンプやデコーダを使用するとき、本機のデジタル出力端子から出力する音声を変更できます。
DVD の MPEG とリニア PCM を切り換えられます。

設定　：**MPEG → PCM***（MPEG でもリニア PCM に対してでもリニア PCM 規格で出力します。）
　　　：**MPEG**（MPEG 信号をそのまま出力します。）



4. DTS： DTS 入力端子のあるアンプを使用するとき、DTS 信号が記録された DVD で、DTS 信号を出力する（オン）、出力しない（オフ）を切り換えられます。

設定　：**オフ***（出力しない）
　　　：**オン**（DTS 信号を出力する）



2. 映像出力（DVD、ビデオ CD のみ）

映像の出力設定

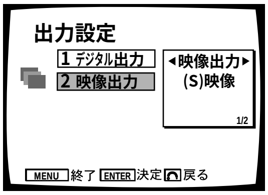
接続する機器に合わせて、出力設定を行います。

- 接続する機器の映像入力または S 映像入力端子に接続するときは **(S) 映像**にします。
- 接続する機器のコンポーネント入力端子に接続するときは**コンポーネント**にします。

映像出力を、通常の映像信号出力とするかコンポーネント出力とするかを選びます。
S 映像信号は、通常の映像信号に含まれます。
コンポーネント出力を選ぶと、映像出力端子と S2 映像出力端子の映像はモノクロ画面になります。

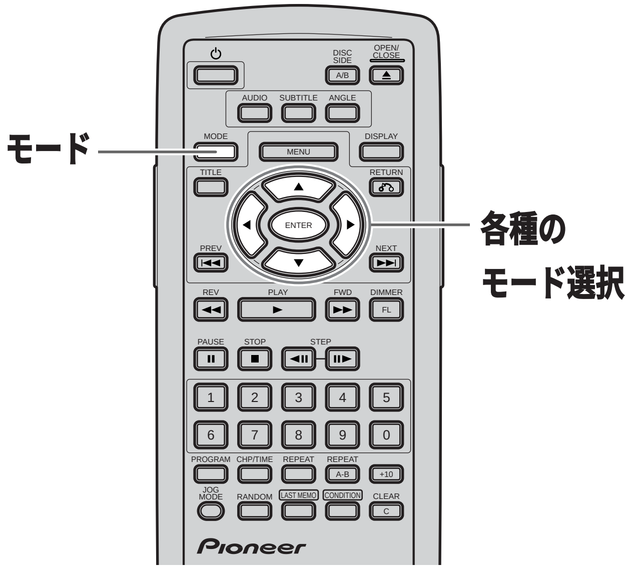
また、LD、CDV、GRAPHICS マーク付きの CD の映像はコンポーネントに切り換えることはできません。この場合、コンポーネントに設定していても自動的に（S）映像出力になります。

設定　：**（S）映像***
　　　：**コンポーネント**



- リモコンの を押して映像出力を選べます。

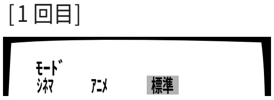
画質・音質を切り換える



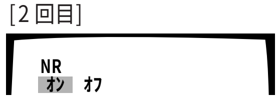
MODE を押す回数により、次のように切り換わります。

例：DVD の場合

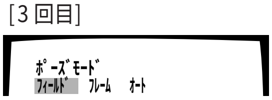
[1回目]



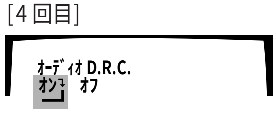
[2回目]



[3回目]



[4回目]



[5回目]



使用するディスクにより下表のようになります。

ディスク＼回数	1回	2回	3回	4回	5回
DVD	モード	NR	ポーズモード	オーディオ D.R.C.	Virtual Dolby Surround
LD (CAV)	NR	ポーズモード	Virtual Dolby Surround	グラフィックス	———
LD (CLV)	NR	Virtual Dolby Surround	グラフィックス	———	———
ビデオCD	モード	NR	Virtual Dolby Surround	———	———
CD	Virtual Dolby Surround	グラフィックス	———	———	———

画質を切り換える(シネマモード／アニメモード)

DVD、ビデオ CD のみ

映画、アニメ等の映像をお好みの映像に切り換えられます。

効果

シネマ
画質:黒をクッキリとさせたメリハリのある映像にします。

アニメ
画質：色をハッキリさせた美しい映像がお楽しみいただけます。

標準
画質、機能ともに通常に戻ります。

1 再生中に MODE を押して「モード」を選ぶ

2 ◀ ▶ で好みのモードを選ぶ

メモ

ソフトの内容や組み合わせるテレビによっては見づらくなる場合があります。その場合は標準にしてください。

ノイズを低減する（NR：ノイズリダクション）

DVD、LD、ビデオ CD のみ

DVD や LD、ビデオ CD を再生中に、ノイズを低減する機能です。オンを選ぶとノイズリダクションが働きます。

1 再生中に MODE を押して「NR」を選ぶ

2 ◀ ▶ でオンを選ぶ

メモ

ソフトの内容や組み合わせるテレビによっては効果が出にくい場合があります。

画質・音質を切り換える

静止画の表示方法を切り換える（ポーズモード） DVD、LD（CAVのみ）

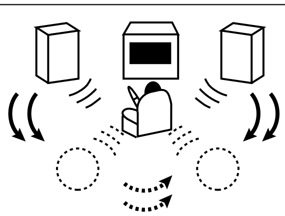
効果
フィールド：　静止画にしたとき画面がブレなくなります。
フレーム：　高画質の静止画が楽しめます。
オート：　DVDでは画面がブレるときはフィールド、ブレないときにはフレームを自動的に選択します。LDではフレームになります。

1 再生中に MODE を押して「ポーズモード」を選ぶ

2 ◀ ▶ で好みのポーズモードを選ぶ

立体感のある音場に切り換える（Virtual Dolby Surround） TruSurround with SRS DVD、LD、ビデオCD、CD

効果
使用するスピーカーが前方２本のみでも、再生中にバーチャルドルビーサラウンドにすると立体感のある音場になります。



1 再生中に MODE を押して「Virtual Dolby Surround」を選ぶ

2 ◀ ▶ でオンを選ぶ

メモ

- 「音声出力端子」から出力される音声にのみ働きます。「デジタル出力端子」では本機能は働きません。
- ディスクによっては、効果が出にくいものがあります。
- ビデオCDのカラオケなどでは、バーチャルドルビーサラウンドをオンにすると、カラオケ音声を選んでもボーカルが小さく聞こえることがあります。このような場合、オフに設定してください。

バーチャル技術として、SRS社のTruSurround方式 TruSurround with SRS を採用しています。
TruSurroundはSRS Labs, Inc. の商標です。 SRSとSRSのマークは米国およびその他数ヵ国におけるSRS Labs, Incの登録商標です。
TruSurroundの技術は、SRS Labs, Inc. によって使用許諾が登録されています。

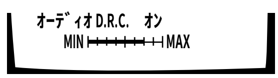
音質を切り換える（オーディオD.R.C） DVDのみ

ダイナミックレンジコンプレッションのことです。DVDでは、音声のダイナミックレンジが広くなっています。お手持ちのステレオシステムやテレビで会話などの音声が聞きづらい場合に設定します。

1 再生中に MODE を押して「オーディオD.R.C」を選ぶ

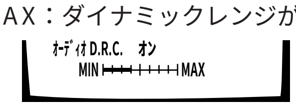
2 ◀ ▶ でオンを選ぶ

3 ENTER を押す



4 ◀ ▶ で変化量を調整する

- MIN：ダイナミックレンジが狭くなります。
- MAX：ダイナミックレンジが広くなります。



5 ENTER を押す

- 設定画面が消えます。

メモ

手順4のときに、▲ ▼ を押すとオン、オフと切り換わります。

CD LD

グラフィックスの設定を切り換える

グラフィックスについて

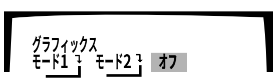
ディスク記録フォーマットには、サブコードという記録場所があります。ここに映画の台詞や歌の歌詞などの信号を記録しておき、その信号を読み取って画面に映し出すのがグラフィックスです。
グラフィックスは、スクロール設定（ノーマル～ステップ17）で表示する位置を選び、チャンネル設定（0～15）で画面に映し出す情報を選ぶことができます。
グラフィックス入りのCDでは自動的にオンになります。

グラフィックス表示の位置を変える

CD、LDのみ

1 再生中に MODE を押して「グラフィックス」を選ぶ

LDの場合



CDの場合

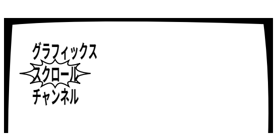


2 ◀ ▶ でモード1またはモード2を選ぶ（CDのときはオンを選ぶ）

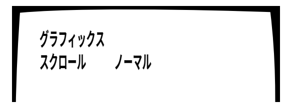
- LDの場合、モード1を選ぶとグラフィックスチャンネルの0と1がオンになります。
  モード2を選ぶとグラフィックスチャンネルの2がオンになります。

3 ENTER を押す

- 「スクロール」表示が点滅します。

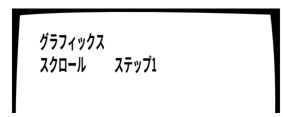


4 ENTER を押す



5 ▲ ▼ で表示位置を選択する

- ノーマルからステップ17まで、18段階の位置が選べます。
- ノーマルの位置に戻すには CLEAR を押します。



6 ENTER を押す

- 選んだ位置にグラフィックスが表示されます。

メモ

1つ前の画面に戻るには、RETURN を押します。

ポイント

- この操作をしてもグラフィックスが出ないときは、グラフィックスのチャンネルを変えてみてください（41ページ参照）。

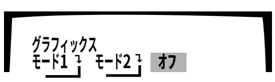
グラフィックスの設定を切り換える

グラフィックスのチャンネルを変える

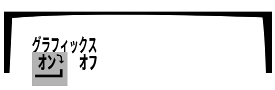
CD、LDのみ

1 再生中に [MODE] を押して「グラフィックス」を選ぶ

LDの場合



CDの場合

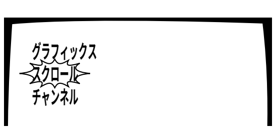


2 [◀][▶] でモード1またはモード2を選ぶ（CDのときはオンを選ぶ）

● LDの場合、モード1を選ぶとグラフィックスチャンネルの0と1がオンになります。
モード2を選ぶとグラフィックスチャンネルの2がオンになります。

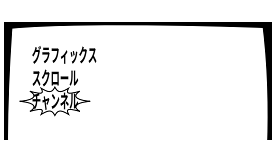
3 [ENTER] を押す

●「スクロール」表示が点滅します。

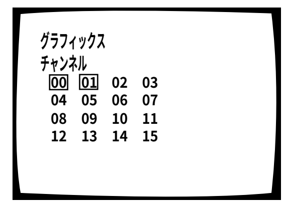


4 [▼] を押す

●「チャンネル」表示が点滅します。



5 [ENTER] を押す



6 数字ボタンでチャンネル番号を選ぶ

● 選んだチャンネル番号が反転表示になります。
● もう一度同じ番号を押すとオフになります。
● 10～15は [+10] を押してから [0] ～ [5] を押します。

7 [ENTER] を押す

● 選んだチャンネルのグラフィックスが画面に表示されます。

メモ

● 電源を切ると、変更したグラフィックスのスクロールおよびチャンネルは初期状態に戻ります。これは、異なるディスクを再生したとき、グラフィックスが出なくなるなどのことが起こらないようにするためです。
● 1つ前の画面に戻るには、[RETURN] を押します。

ポイント

● この操作をしてもグラフィックスが出ないときは、グラフィックスの表示位置を変えてみてください（40ページ参照）。

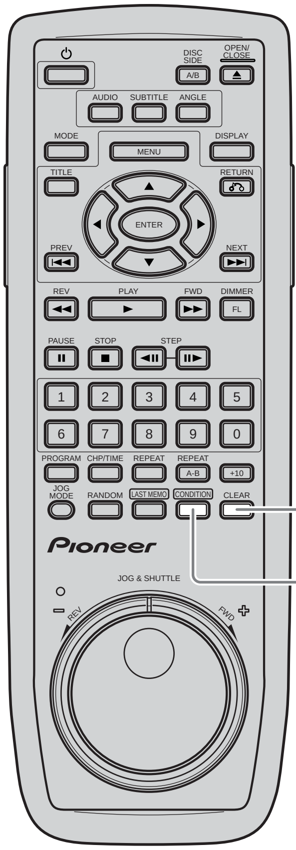
DVD

よく見る DVD の各種設定を記憶させる（コンディションメモリー）

よく見る DVD の設定内容を記憶させることができます。設定は、ディスクを出したり、電源を切っても記憶されています。記憶したディスクを入れると、前回の内容が自動的に呼び出されます。

記憶できる設定内容は下記の 7 つです。これらの設定をした後、コンディションメモリーすると、これらの設定内容を記憶しておけます。

- アスペクト（35 ページ）
- シネマモード / アニメモード（38 ページ）
- マルチ音声（43 ページ）
- マルチ言語字幕（44 ページ）
- 画面表示の位置（31 ページ）
- アングル（44 ページ）
- パレンタルレベル（33 ページ）



1 再生中に CONDITION を押す

記憶してあるディスクを入れると…

画面に「コンディション」が表示され、前に設定した内容になります。

記憶してある内容を消すには

記憶してあるディスクを入れ、画面に「コンディション」の表示中に、CLEAR を押します。そのディスクの記憶内容が消されます。

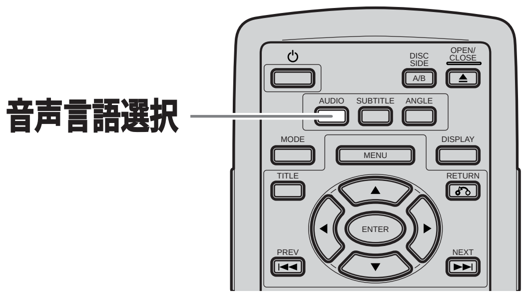
メモ

- 一度設定した内容は、何度再生しても保持されます。
- 記録できる枚数は最大で 30 枚分です。それを超えると、古い記録から消されて、新しく記録した内容になります。古い記録でも、呼び出されると最新の記録となります。
- 設定を変更したい場合は、アスペクト、シネマモード / アニメモード、字幕言語、音声、アングル、パレンタルレベルのいずれかを設定しなおし、再生して CONDITION を押します。
- ディスクによっては自動的にマルチ音声などが切り換わるものがあります。

DVD

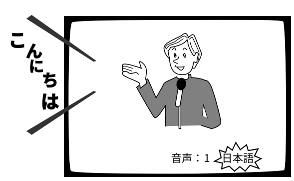
音声言語を選ぶ（マルチ音声）

DVDの中には、複数の言語の音声が記録されているディスクがあります。また、ドルビーデジタルやPCMなどいろいろな方式で記録されているディスクもあります。お好みの音声を選んでお楽しみください。

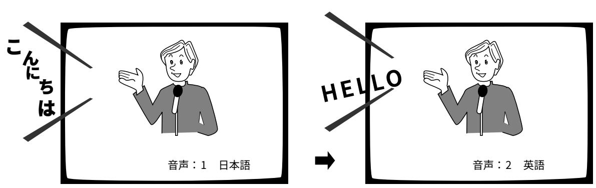


1 再生中に AUDIO を押す

● 画面に現在の音声が点滅して表示されます。



2 さらに AUDIO を押し、お好みの音声にする



ポイント

● タイトルによってはメニューを使って選択することもできます。この場合は手順1の後に MENU を押して、メニュー画面を出し、選択してください。

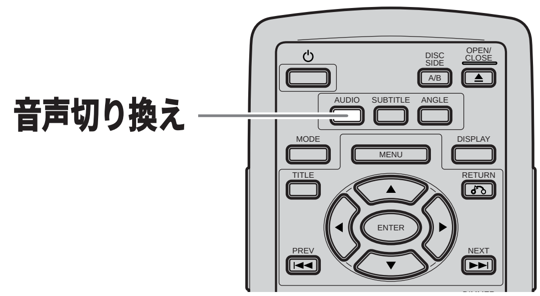
注意！

◆音声言語が1言語しか記録されていないときには、音声言語が切り換わりません。
◆タイトルによっては、音声言語が切り換えできないものがあります。この場合 マークが表示されます。

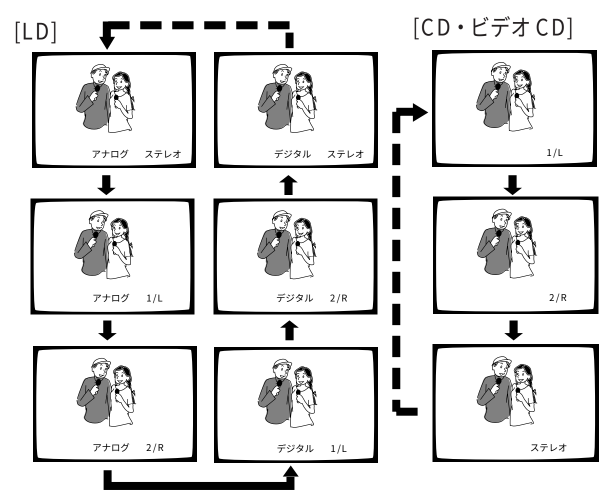
CD LD Video CD

音声を切り換える

音声を、ステレオかモノラルか、デジタルかアナログかに切り換えられます。



1 再生中に AUDIO を押す



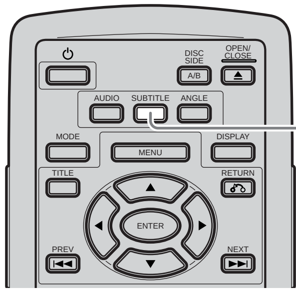
注意！

◆LDにデジタル音声が記録されていないときは、デジタル音声に切り換わりません。
◆LDの場合、ディスクによってはCXシステムの切り換えの行えるものがあります。その場合、この操作で切り換えができます。
◆LDでアナログ出力を選んだ場合は、デジタル音声は出力されません。また、AC-3対応のLDではアナログの右チャンネルにAC-3信号が記録されているため、アナログ音声出力は左チャンネルのみ（モノラル）となります。
◆DTS-LDでデジタル出力を選んだ場合は、アナログ出力からはノイズが出力されます。その場合、この操作でアナログ出力に切り換えてください。

DVD

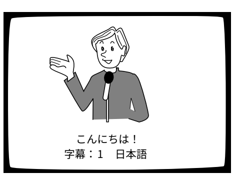
字幕言語を選ぶ（マルチ言語字幕）

複数の字幕言語が記録されたDVDでは、字幕言語を選ぶことができます。



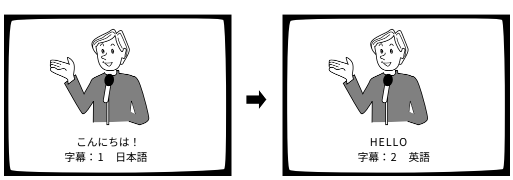
字幕言語選択

1 再生中に SUBTITLE を押す



●現在再生中の字幕番号が表示されます。

2 SUBTITLE を押し、お好みの言語にする



➡字幕：オフ

注意！

◆字幕言語が記録されていない、または1つしか記録されていないときは字幕言語が切り替わりません。
◆タイトルによっては、字幕言語が切り換えできないものがあります。この場合　マークが表示されます。

ポイント

●再生中に字幕言語を消したい場合には、SUBTITLE を何度か押して画面に「オフ」を表示するか、SUBTITLE を押し字幕が表示されているときに CLEAR C を押してください。
●初期設定メニューから言語設定にし、基本字幕の設定で「オフ」に設定しておくと字幕を消すことができます。（34ページ参照）
●ディスクによってはメニューを使って選択することもできます。
この場合は表示が出ているときに MENU を押して、メニュー画面を出し、選択してください。

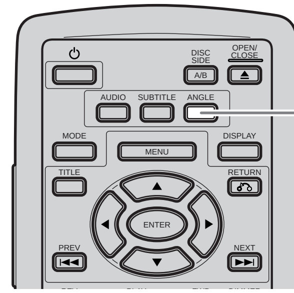
DVD

見たい方向からの映像を選ぶ（マルチアングル）

複数の方向(アングル) から映された映像が記録されたDVDで選ぶことができます。

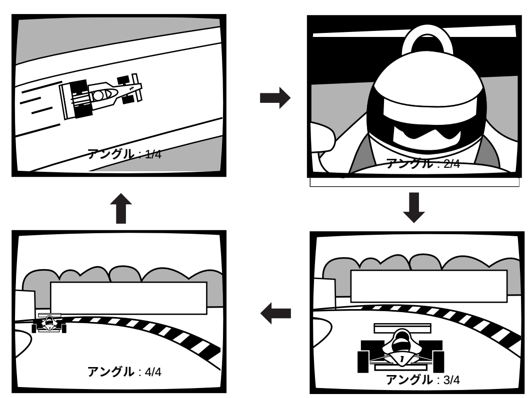
ディスクにアングルが記録されていることを知るには

ディスクのジャケットにマークが付いています。また本機では、アングルが記録されいてる箇所を再生すると、（アングルマーク）を表示することができます。
アングルマーク表示を消したいときは、31ページをご覧ください。



アングル
切り換え

1 再生中に ANGLE を押す

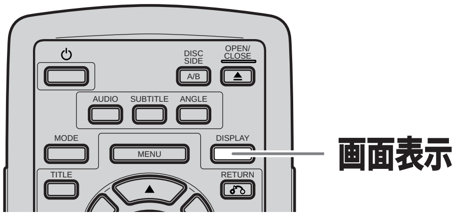


ポイント

●マルチアングル機能は、複数のアングルが記録されたディスクでなければ選択できません。
●マルチアングル部分を再生中は本体のANGLEインジケーターが点灯します。
●ディスクによってはメニューを使って選択することもできます。
この場合は表示が出ているときに MENU を押して、メニュー画面を出し、選択してください。

DVD CD LD Video CD

ディスクの情報を見る



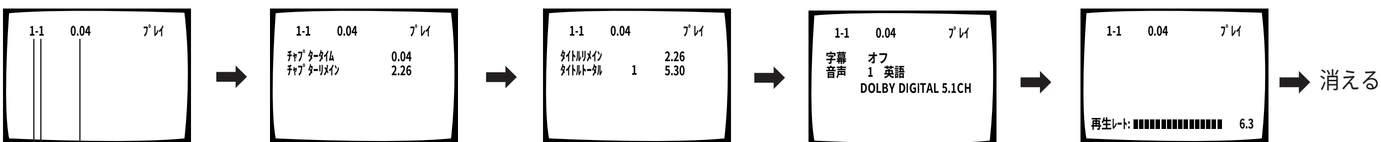
注意！

◆初期設定で画面表示がオフに設定されているときは、表示されません。（31ページ）
◆テレビ画面の焼き付き防止のため、表示は約80分で自動的に消えます。
◆LDでTOC（62ページ参照）の入っていないディスク、または、B面再生後には、リメインタイム、ディスクタイムは表示されません。また、お買い上げ時はクイックターンがオンに設定されているため、表示されません。表示させるには、クイックターンをオフに設定します。（32ページ）

再生中に DISPLAY を押す

● 押すごとに下記のように切り換わります。
● ディスクのトータル情報が表示されます。

DVD



タイトル内再生時間
チャプター番号
タイトル番号

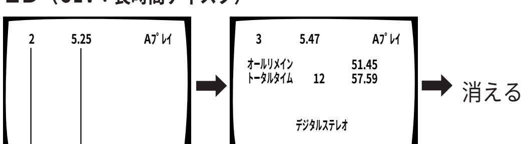
チャプタータイム：
　チャプターの再生時間
チャプターリメイン：
　再生中のチャプターの残り時間

タイトルリメイン：
　再生中のタイトルの残り時間
タイトルトータル：
　再生中のタイトルの総チャプター数と総再生時間

字幕：
　表示する字幕の情報
音声：
　出力する音声の情報

再生レート：
　転送レートのレベルメーター

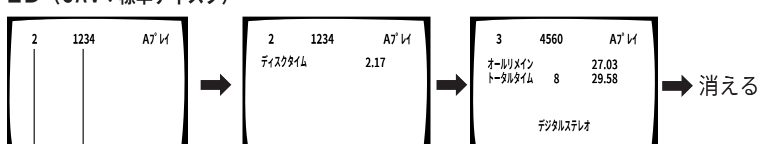
LD（CLV：長時間ディスク）



ディスクの始めからの再生時間
チャプター番号

オールリメイン：
　再生中のところからディスクの最後までの残り時間
トータルタイム：
　ディスクの総再生時間

LD（CAV：標準ディスク）

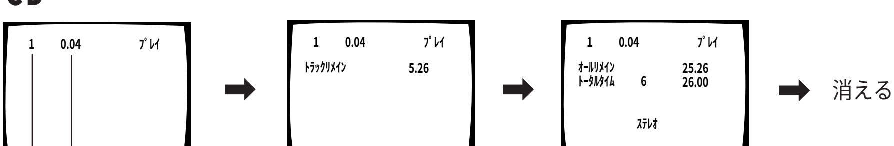


フレーム番号
チャプター番号

ディスクタイム：
　ディスクの始めからの経過時間

オールリメイン：
　再生中のところからディスクの最後までの残り時間
トータルタイム：
　ディスクの総再生時間

CD

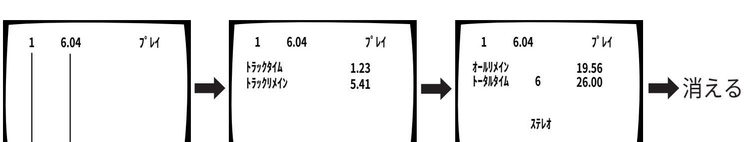


曲の再生時間
トラック

トラックリメイン：
　再生中の曲の残り時間

オールリメイン：
　再生中のところからディスクの最後までの残り時間
トータルタイム：
　ディスクの総トラック数と総再生時間

ビデオCD（PCBオフ時）

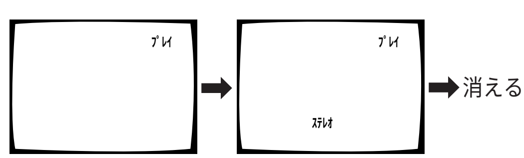


ディスクの始めからの再生時間
トラック

トラックタイム：
　再生中の曲再生時間
トラックリメイン：
　再生中の曲の残り時間

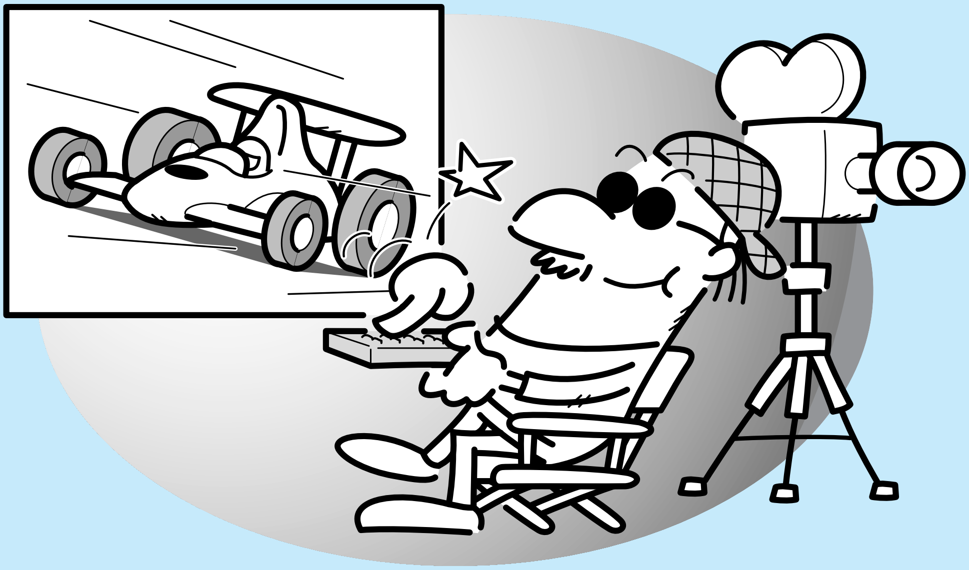
オールリメイン：
　再生中のところからディスクの最後までの残り時間
トータルタイム：
　ディスクの総トラック数と総再生時間

ビデオCD（PCBオン時）



準備　基本操作　お好みに合わせた各種の設定　応用操作　その他

応用操作



DVD LD Video CD

つづきから見る（つづき再生）



ディスクを途中まで見て、あとでそのつづきを見るときに便利な機能です。

つづきから見る場所を記憶する

1　再生中に [LAST MEMO] を押す

● 表示窓のラストメモリーインジケーターが点灯します。

2　[⏻] で電源を切るか、[STOP ■] で再生を停止する

一度記憶すると、電源を切ってもディスクを取り出しても忘れません。また、DVDは最大5枚分記憶することができ、次回再生するときに、その場面を呼び出すことができます。

つづきから見るとき

1　つづきから見る場所を記憶しているディスクを入れる

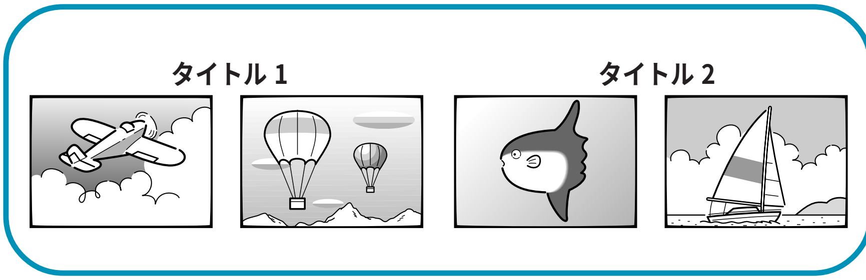
● DVDの中には、ディスクを入れただけで自動的に再生するディスクもあります。
自動的に再生した場合は、一度 [STOP ■] を押してから、[LAST MEMO] を押してください。

2　停止中に [LAST MEMO] を押す

● ディスクを入れたまま電源ボタンで電源を切ったときは、[LAST MEMO] を押すと電源が入り自動的に再生が始まります。

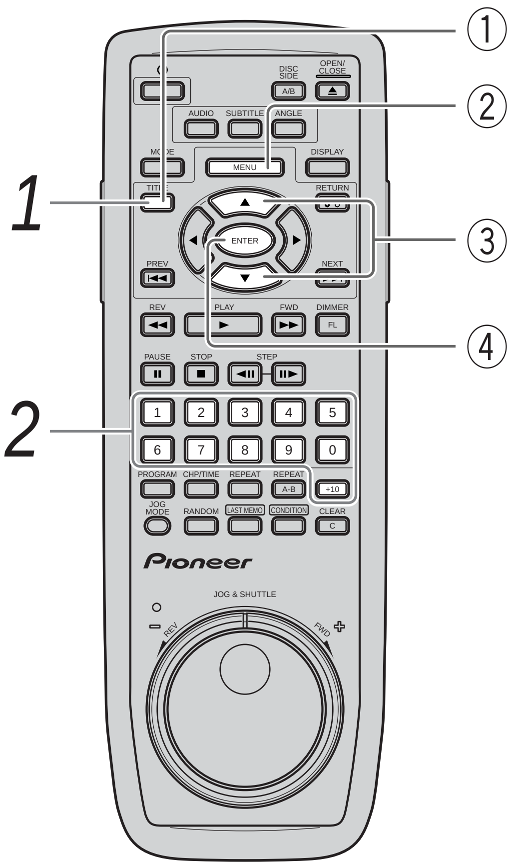
メモ

●DVDの場合は､ディスクによっては機能しないことがあります。
●DVDは、登録ディスクの枚数が5枚を超えたときは古い記憶（一番最初にメモリーしたもの）から消去、上書きされます。
●記憶したディスクでも、[PLAY ►] で再生すると、ディスクの始めから再生します。
●つづき再生したディスクは記憶が自動的に消去されます。
●CDでは、つづき再生はできません。
●LD、ビデオCDでは、ディスクを取り出すと記憶した内容は消えます。
●ビデオCDは、メニュー画面を表示して再生したとき（PBC再生）は、つづき再生ができない場所があります。つづき再生ができないときは､メニュー画面を表示しないで再生してください。（23ページ）



DVD

見たい場面を探す（タイトルサーチ）

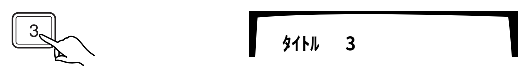


タイトル番号で直接探す

1 再生中に TITLE を押す
（停止中は TITLE を押さずに手順 2 へ進む）

2 数字ボタンを押す

・タイトルの 3 を選ぶとき



・タイトルの 10 を選ぶとき　+10 → 0

● タイトル番号点滅時に TITLE を押し続けると、タイトル番号が 1 つずつ進みます。希望の番号を選んで PLAY ► を押しても選ぶことができます。

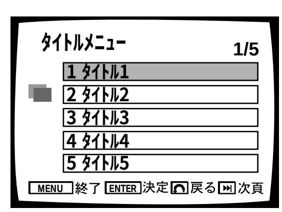
メニューで探す

① TITLE を押す

● 停止中は手順 3 へ進んでください。

② MENU を押す

③ ▲ ▼ でタイトル番号を選ぶ



④ ENTER を押す

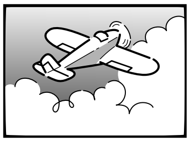
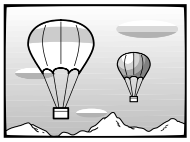
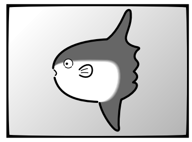
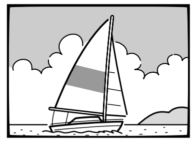
● 選んだタイトルを再生します。

メモ

●ディスクによってはメニューを使って選択することもできます。この場合は表示が出ているときに MENU を押して、メニュー画面を出し、選択してください。

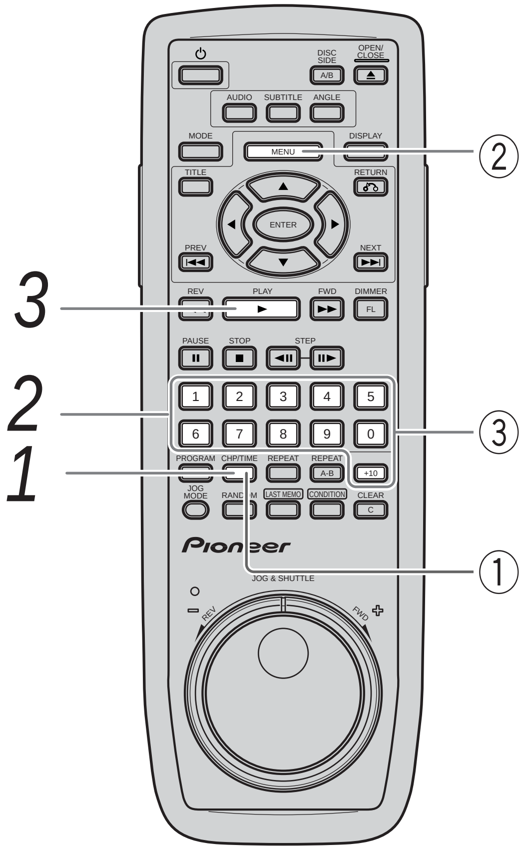
注意！

◆選んだタイトルだけが再生されます。タイトルを連続して再生できません。
◆複数のタイトルを連続して再生するには、タイトルをプログラムして、プログラム再生（52 ページ）してください。
◆DVD では、ディスクによりサーチ機能を禁止しているものがあり、その場合は 🚫 マークが画面に出ます。
◆ディスクによってはメニューが表示されない場合があります。

チャプター 1

チャプター 2

チャプター 3

チャプター 4


見たい場面を探す

直接数字ボタンを押す方法と、CHP/TIME を押してから数字ボタンを押す方法の 2 通りあります。



数字ボタンで探す
（DVD、CD、LD、ビデオ CD）

数字ボタンを押す

例①　チャプター／トラックの 3 を選ぶとき

[3]

例②　チャプター／トラックの 17 を選ぶとき

[+10] → [7]

● DVD は、停止中に押すとタイトルサーチになります。（49 ページ）

CHP/TIME ボタンで探す
（DVD、LD、ビデオ CD）

1　CHP/TIME を押す

● チャプター / トラック番号が点滅します。
● DVDでは、停止中はメニューが表示される場合があります。この場合は次ページの「メニューでチャプター番号を探す」を参照してください。

2　チャプター/トラック番号を数字ボタンで指定する

例①　チャプター / トラックの 31 を選ぶとき

[3] → [1]

例②　チャプター 187 を選ぶとき

[1] → [8] → [7]

3　PLAY ► を押す

● 指定したチャプター / トラックを再生します。

メモ

●点滅中のタイトル、チャプター / トラック／タイムの表示を消すには、CLEAR C を 2 回押してください。
●ディスクによってはメニューを使って選択することもできます。
この場合は表示が出ているときに MENU を押して、メニュー画面を出し、選択してください。

（チャプター/トラック/タイム/フレームサーチ）

メニューでチャプター番号を探す（DVDのみ）

① CHP/TIME を押す

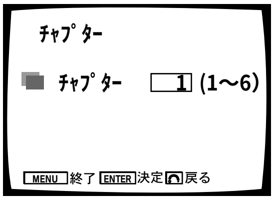
● 停止中は手順③へ進んでください。

② MENU を押す

● チャプターのメニューが表示されます。

③ 数字でチャプターを選ぶ

● タイトルによってメニューは表示されない場合があります。この場合は左記の方法で操作します。



時間/フレームナンバーで探す（タイム/フレームサーチ）（DVD、LD、ビデオCD）

1 CHP/TIME を2回押す

ﾁｬﾌﾟﾀｰ 0 → ﾀｲﾑ 0.00

● チャプターのないDVDの場合は、1回押すとタイム表示になります。

2 数字ボタンを押して、タイムナンバー/フレームナンバーを指定する

例① 21分43秒のとき

2 → 1 → 4 → 3

例② フレームナンバー423を選ぶとき

4 → 2 → 3

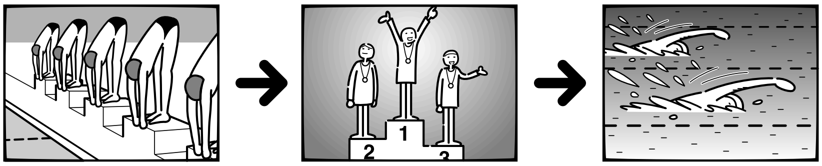
● DVDではタイトル間をまたがって、時間の選択はできません。

3 PLAY ▶ を押す

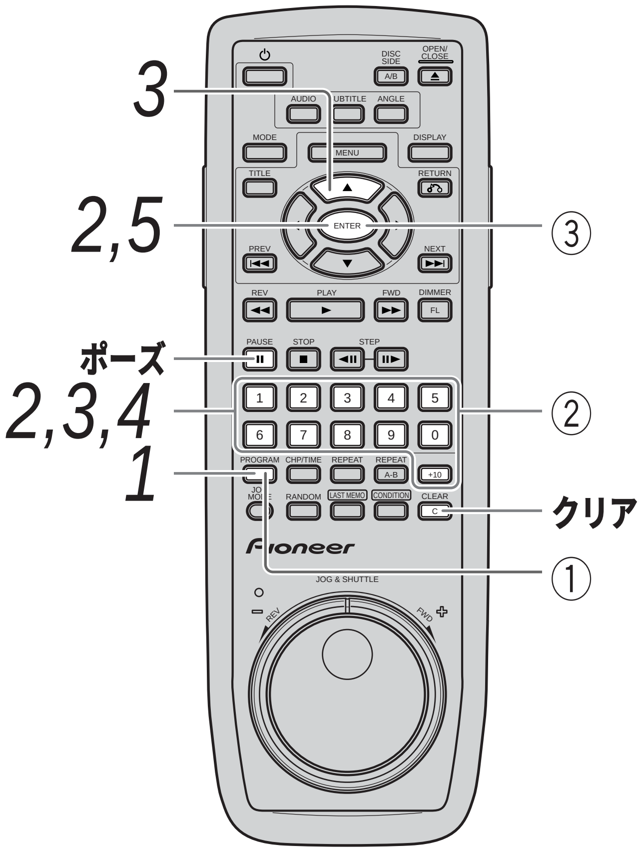
● 指定したタイムナンバーまたはフレームナンバーの画面から再生します。

注意！

◆CDではタイムサーチできません。
◆DVDでは、ディスクによっては機能しないことがあり、そのときは画面に マークが出ます。
◆DVD、ビデオCDのタイムサーチはタイムナンバーより少しずれた位置から再生が始まる場合があります。
◆DVDでは、停止中のタイムサーチはできません。
◆ビデオCDのPBC再生時には、上記操作によるサーチはできません。サーチをするには、メニューを出さずに再生（23ページ参照）してから上記の操作をしてください。



希望の順番に並べ換えて再生する（プログラム再生）



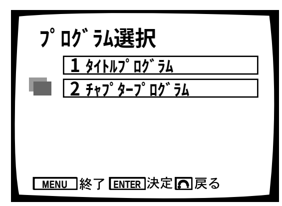
DVD では…

プログラムの設定

最大 24 ステップまでプログラムできます。

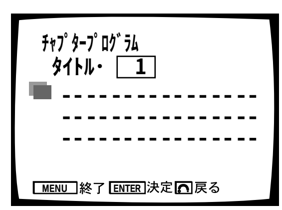
1　再生中または停止中に PROGRAM を押す

2　「タイトルプログラム」か「チャプタープログラム」かを数字ボタンで選び、ENTER を押す



●「タイトルプログラム」を選んだときは、手順 4 へ進みます。
●「チャプタープログラム」を選んだときは、手順 3 へ進みます。

3　▲ を押してタイトル番号を点滅させ、プログラムしたいチャプターが含まれるタイトル番号を数字ボタンで選ぶ

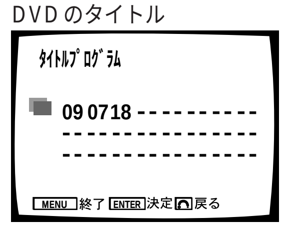


4　数字ボタンで DVD のタイトルまたはチャプターを選ぶ

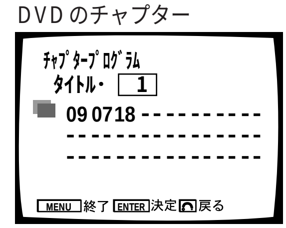
例　9 → 7 → 18 の順に設定する場合

9 → 7 → +10 → 8

DVD のタイトル



DVD のチャプター



5　ENTER を押す

● 設定した順に再生します。
● プログラム再生を止めるには STOP ■ を押します。

CD、LD、ビデオ CD では…

プログラムの設定

最大 24 ステップまでプログラムできます。

① 再生中または停止中に PROGRAM を押す

② 数字ボタンでトラックを選ぶ

例えば、9 曲目→ 7 曲目→ 18 曲目の順にプログラムする場合。

9 → 7 → +10 → 8

の順番に押します。

● 両面再生LDの場合、「ディスク面の指定+チャプター番号の指定」で 1 組になります。
例えば、B 面のチャプター 9 をプログラムする場合、

DISC SIDE A/B → DISC SIDE A/B → 9

と押します。

③ ENTER を押す

● 設定した順に再生します。
● プログラム再生を止めるには STOP ■ を押します。

注意!

◆ビデオ CD の PBC 再生時には、プログラムできません。プログラムするには、メニューを出さずに再生（23 ページ参照）してから上記の操作をしてください。
◆チャプターの移り変わりのときに、プログラムしていないチャプターの画面が見えることがありますが、故障ではありません。
◆DVDの場合、ディスクによっては、プログラムできないものがあります。そのようなディスクでプログラムすると、画面に 🚫 マークが表示されます。
◆チャプタープログラムは、同じタイトル内のチャプターのみプログラムできます。
◆チャプター番号の記録されていないディスクでは、プログラム再生はできません。
◆停止中に CLEAR C を押すと、プログラムはすべて消えます。
◆ディスクテーブルを開くと、プログラムはすべて消えます。

一時停止（ポーズ）をプログラムする

数字ボタンのかわりに PAUSE ❚❚ を押す

●画面では「❚❚」を表示し、ポーズがプログラムできます。
●プログラム再生により一時停止状態になった場合、[PLAY]を押すと次のプログラムに進みます。

数字ボタンを押し間違えたとき

CLEAR C を押し、正しい数字ボタンを押す

プログラムの確認、追加、削除のしかた

確認する

PROGRAM を押す

● CD、LD、ビデオ CD ではプログラムの確認ができます。

DVDではさらに ▲ ▼ でプログラムの種類を選び、ENTER を押す

●「タイトルプログラム」、「チャプタープログラム」どちらかを選びます。これで、プログラムの確認ができます。

追加する

1 PROGRAM を押す

● DVD では、さらにプログラムの種類を選んで ENTER を押します。

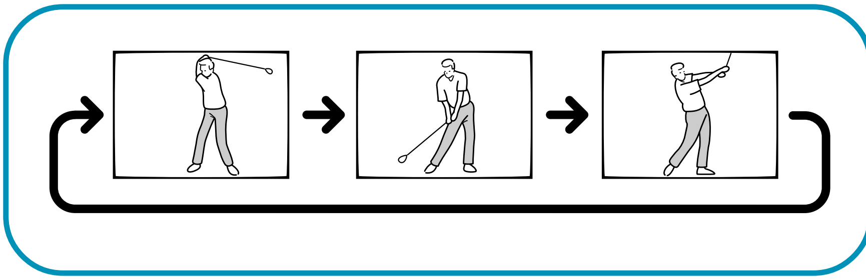
2 数字ボタンを押し、PROGRAM を押す

削除する

1 PROGRAM を押す

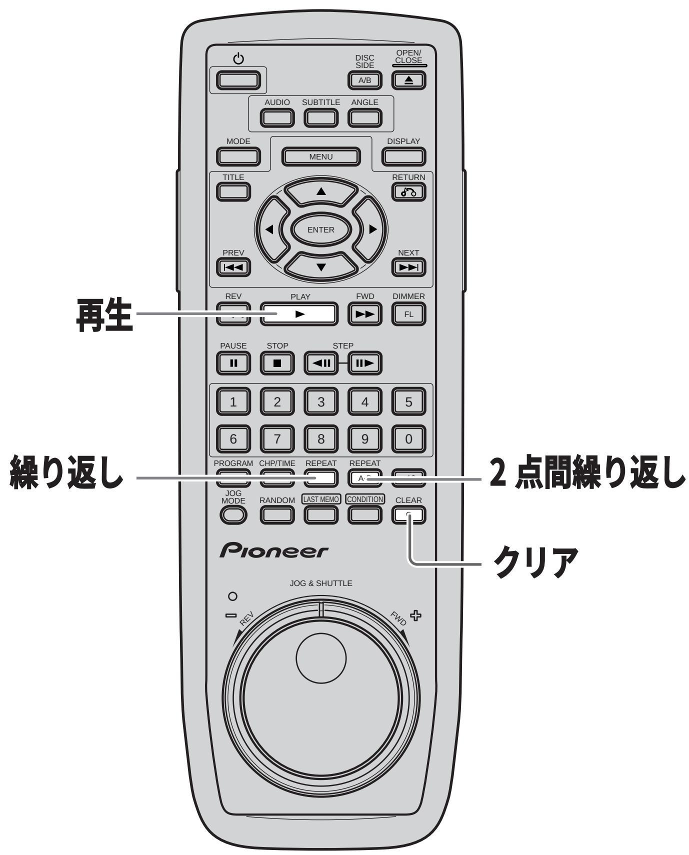
● DVD では、さらにプログラムの種類を選んで ENTER を押します。

2 ◀ ▶ でプログラムを選び、CLEAR C を押す



繰り返し見る・聞く（リピート再生）

DVD CD LD Video CD



チャプター / トラックをリピート再生する

繰り返したいチャプターや曲の再生中に REPEAT を 1 回押す

1 つのタイトルをリピート再生する

繰り返したいタイトルの再生中に REPEAT を 2 回押す

- DVD では、タイトルの終わりまで再生するとタイトルの始めに戻り、繰り返して再生します。
- CD、ビデオ CD では、ディスク 1 枚が 1 つのタイトルなので、全てを繰り返して再生します。

LD の両面をリピート再生する

REPEAT を 3 回押す

- A 面から B 面、B 面から A 面へと繰り返して再生します。

指定した箇所をリピート再生する

繰り返したい箇所の始めと終わりで REPEAT A-B を押す

メモ

- プログラム再生中に REPEAT を押すと、プログラムを繰り返して再生します。
- リピート再生を止めるには、CLEAR C を押すか、REPEAT を何度か押して「オフ」を表示させます。リピートモードが解除されて、再生がそのまま続きます。
- DVD ではタイトルをまたいだリピート再生はできません。

注意！

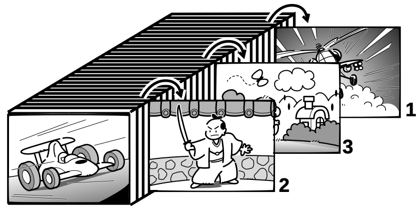
◆DVDの場合、タイトルによりリピート再生できないときがあります。
その場合は 🚫 マークが画面に出ます。
◆ビデオ CD の PBC 再生時には、リピート再生できません。リピート再生するには、メニューを出さずに再生（23 ページ参照）してから REPEAT を押してください。

指定した場所に戻る

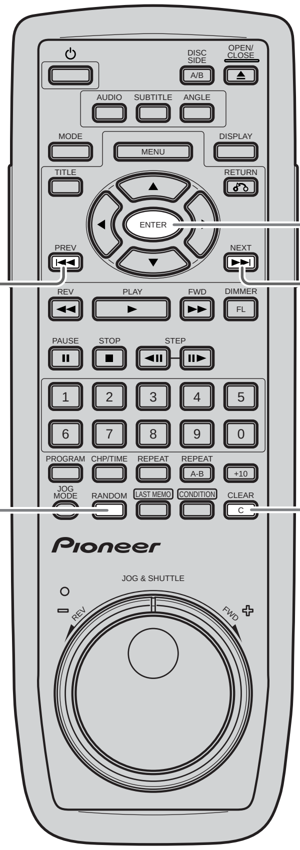
1 **希望の場所で REPEAT A-B を押す**

2 **戻りたい時に PLAY ► を押す**

- 指定した場所を取り消すには、CLEAR C を押します。



順不同で再生する（ランダム再生）



DVD では…

1つのタイトル内のチャプターをランダム再生する

RANDOM を1回押し、ENTER を押す

● 画面に「ランダムチャプター」と表示し、タイトル内のチャプターを順不同に再生します。

タイトルをランダム再生する

RANDOM を2回押し、ENTER を押す。

● 画面に「ランダムタイトル」と表示し、タイトルを順不同に再生します。

LD では…

RANDOM を押す

● 画面に「ランダム」と表示し、チャプターを順不同に再生します。

B 面をランダム再生するには

DISC SIDE A/B を押して B 面を選び、続いて RANDOM を押します。

CD、ビデオ CD では…

RANDOM を押す

● 画面に「ランダム」と表示し、順不同に再生します。

メモ

ランダム再生中に・・・

● NEXT を押すと、プレーヤーが次の曲または場面を選んで再生します。

● PREV を押すと、現在再生中の曲または場面を始めから再生し直します。

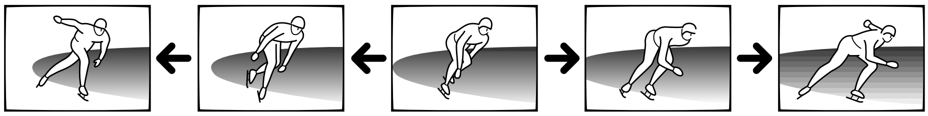
ランダム再生を止める

CLEAR を押す

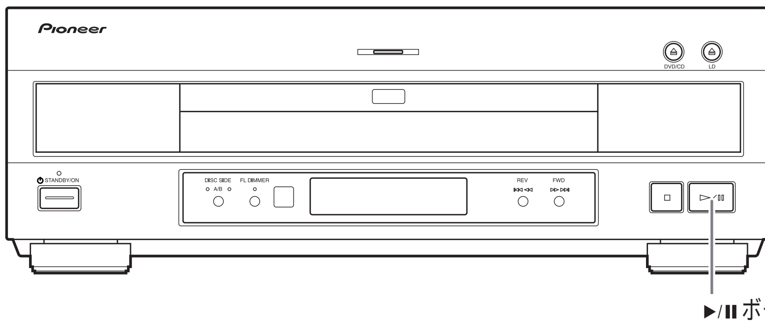
● 通常再生に戻り、現在再生されているチャプター / トラックのあとを順番に再生していきます。

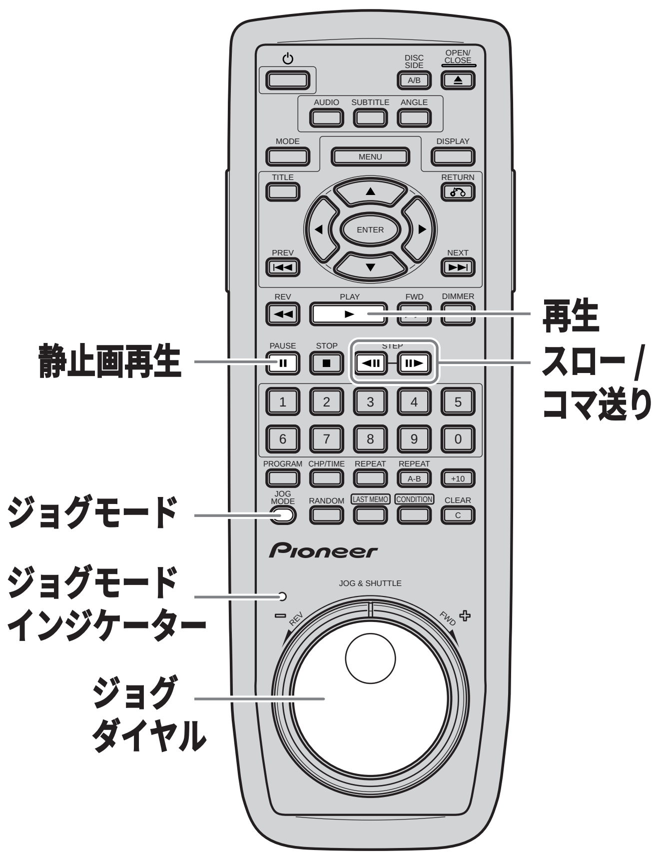
注意！

◆ビデオ CD の PBC 再生時には、ランダム再生できません。ランダム再生をするには、メニューを出さずに再生（23 ページ参照）してから RANDOM を押してください。
◆プログラムした内容をランダムに再生することはできません。
◆DVD の場合、ディスクによっては、ランダム再生できないものがあります。
◆ランダム再生を繰り返し再生することはできません。
◆チャプター番号の記録されていないディスクでは、ランダム再生はできません。



静止画 / スロー再生 / コマ送り





静止画再生－画像を止めて見る

PAUSE を押す

- 本体前面では▶/II ボタンを押します。
- 静止画がブレるときは、39 ページを参照して、ポーズモードを「フィールド」に設定してください。

メモ

- 普通の再生に戻すには、PLAY ▶（本体の場合は▶/II ボタン）を押します。

注意！

◆静止画、コマ送り、スロー再生中の音声は聞こえません。
◆ディスクによっては、一時停止、コマ送り、スロー再生できないものもあります。その場合は マークが画面に出ます。

スロー再生－スローにして見る

再生中に ◀II または II▶ を押しつづける

正方向の場合

II▶ ：1/2 倍速のスロー再生になります。

スロー再生中は、◀II と II▶ でスピードを調整できます。

◀ ──────── ◀II
1/16 -- 1/8 -- 1/4 -- 1/2
II▶ ──────── ▶

逆方向の場合（DVD、LD のみ）

再生中に ◀II を押し続ける。

DVD のとき： 逆方向にスロー再生します。スピードを変えることはできません。

LD のとき： スロー再生中は、◀II と II▶ でスピードを調整できます。

◀ ──────── ◀II
1/16 -- 1/8 -- 1/4 -- 1/2
II▶ ──────── ▶

メモ

●普通の再生に戻すには、PLAY ▶（本体の場合は ▶/II ボタン）を押します。

コマ送り再生－画像を 1 コマずつ見る

方法 1 ： 再生中または静止画状態のときに、◀II または II▶ を押す

II▶ ：押すごとに 1 コマずつ進みます。

◀II ：DVD と LD のみ働きます。DVD では、押すごとに少しずつ戻ります。LD は、押すごとに 1 コマずつ戻ります。

方法 2： JOG MODE を押してジョグモードインジケーターを点灯させてからジョグダイヤルをゆっくり回す

FWD 方向（右方向）に回す：
回すごとに 1 コマずつ進みます。
REV 方向（左方向）に回す：
回すごとに少し戻ります。ビデオ CD ではできません。
●ジョグダイヤルを離すと静止画の状態になります。
●ジョグダイヤルを回す早さによって、スロー再生になります。

メモ

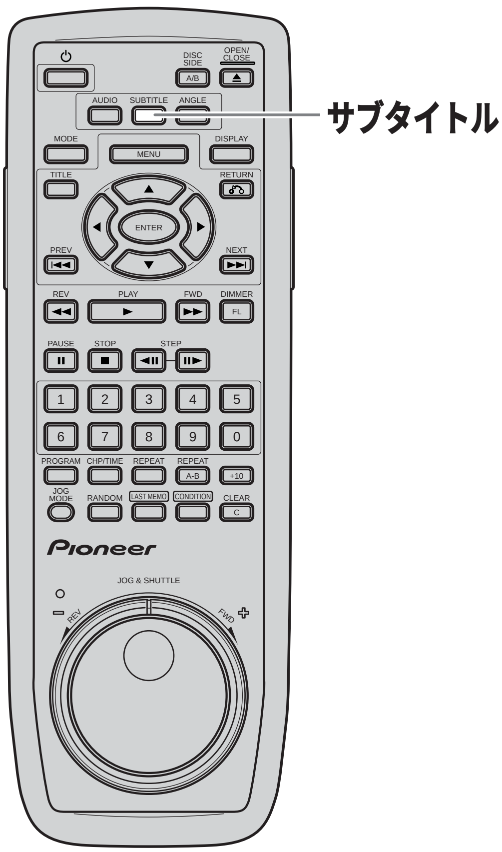
●普通の再生に戻すには、PLAY ▶（本体の場合は ▶/II ボタン）を押します。

準備
基本操作
お好みに合わせた各種の設定
応用操作
その他



LD/CD グラフィックスを再生する

ディスクには、映像や音声を記録する場所以外に、サブコードという情報を記録する場所があります。ここに、映画の台詞や歌の歌詞などの情報を記録しておくことができます。再生時にそれを読み取って画面に映し出すのがグラフィックスです。



LD グラフィックスディスクには LD·G マークが付いています。

CD グラフィックスディスクには GRAPHICS マークが付いています。

グラフィックスは、これらのディスクを使用したときにお楽しみいただけます。

LD グラフィックスを再生する

再生中に SUBTITLE を押す

- グラフィックスチャンネル 0 と 1 がオンになり、グラフィックスモード 1 の表示が出ます。もう一度押すとグラフィックスチャンネル 2 がオンになり、グラフィックスモード 2 の表示がでます。
- チャンネルを切り換えると「グラフィックスオン」と表示されます。

CD グラフィックスを再生する

PLAY ► を押して再生を始める

- グラフィックスがオフになっていても、CD グラフィックスを再生すると自動的にグラフィックス映像が表示されます。

グラフィックスをオフにする

LDの場合、グラフィックスモード 2 またはグラフィックスオンの状態で SUBTITLE を押す

CD の場合、グラフィックスオンの状態で SUBTITLE を押す

注意！

◆LD または CD のグラフィックスディスクを使用していて、グラフィックスをオンにしてもグラフィックス映像が出ないときは、グラフィックスチャンネルの設定が合っていない、またはグラフィックスの表示位置の設定が合っていないことが考えられます（40、41ページ参照）。

◆グラフィックスが記録されていないディスクでは、まれに誤ったグラフィックス映像が出ることがありますが、故障ではありません。グラフィックスが記録されていないディスクを再生するときは、グラフィックスをオフにしてください。

◆LD/CDグラフィックス対応ディスクの再生中に、グラフィックス映像の文字が欠ける、画面と文字、画面と画面、文字と文字が重なる、画面や文字の色が変わるなどの症状が出ることがありますが、故障ではありません。しばらくすると正しいグラフィックス画像になります。

その他

正しく、末永くお使いいただくために

■再生中は本機を絶対に動かさない

再生中はディスクが高速回転しているので、本機を持ち上げたり動かしたりしないでください。ディスクを傷つける恐れがあります。

■本機を移動する場合

本機を移動したり、引っ越しなどで梱包する場合は、必ずディスクを取り出し、OPEN/CLOSE ⏏ボタンを押して、ディスクテーブルを閉じてから、電源スイッチを押して電源を切ってください。その後、表示部の「-OFF-」が消え、スタンバイインジケーターが点灯ししたことを確認してから電源コードを抜いてください。ディスクを内部に入れたまま移動すると、故障の原因となります。

■設置する場所

- ●組み合わせて使用するテレビやステレオシステムのそばの安定した場所を選んでください。
- ●テレビやカラーモニターの上に本機を設置しないでください。カセットデッキなど、磁気の影響を受けやすい機器とは離して設置してください。

■次のような場所は避けてください

- ●直射日光のあたる所
- ●湿気の多い所や風通しの悪い場所
- ●極端に暑い所や寒い所
- ●振動のある所
- ●ほこりの多い所
- ●油煙、蒸気、熱などがあたる所（台所など）

■上に物をのせない

本機の上にものをのせないでください。

■通気孔をふさがない

毛足の長い敷物やベッド、ソファーの上などで使用したり、本機を布などでくるんで使用しないでください。放熱を妨げ、故障の原因となります。

■熱を受けないように

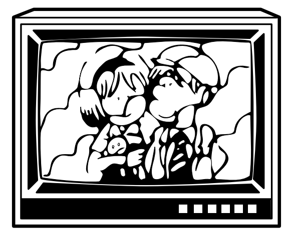
アンプなど、熱を発生する機器の上にのせないでください。
ラックに入れる場合はアンプや他のオーディオ機器から出る熱をさけるため、アンプよりできるだけ下の棚（ホコリをかぶらない程度）に入れてください。

■ガラスドア付きラックに入れたときのご注意

ガラスドアを閉めたままリモコンのOPEN/CLOSE ⏏ボタンを押して、ディスクテーブルを開けないでください。強い力でディスクテーブルの動きが妨げられると、故障の原因になります。

■本機を使わないときは電源を切っておく

テレビ放送の電波状態により、本機の電源を入れたままテレビをつけると画面にしま模様が出る場合がありますが、本機やテレビの故障ではありません。このような場合は本機の電源を切ってください。
ラジオの音声の場合も同様にノイズが入ることがあります。



製品のお手入れについて

通常は、柔らかい布で空拭きしてください。汚れがひどい場合は水で 5 ～ 6 倍に薄めた中性洗剤に柔らかい布を浸してよく絞った後、汚れを拭きとってから乾いた布で拭いてください。アルコール、シンナー、ベンジン、殺虫剤などが付着すると印刷、塗装などがはげることがありますのでご注意ください。また、ゴムやビニール製品を長時間触れさせることも、キャビネットを傷めますので避けてください。化学ぞうきんなどをお使いの場合は、化学ぞうきんなどに添付の注意事項をよくお読みください。お手入れの際は、電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。

故障？ちょっと調べてください

故障かな？と思ったらチェックしてみてください。ちょっとした操作ミスが故障と思われがちです。また、本機以外の原因も考えられます。ご使用のテレビやステレオコンポーネント、および同時に使用している電気器具も合わせてお調べください。下記の項目をチェックしても直らない場合は、お買い上げの販売店またはお近くのパイオニアサービスステーションにご連絡ください。

	症　状	考えられる原因	参照ページ
操作	1. ディスクテーブルを閉めても出てきてしまう	● ディスクが極端に汚れている。	p.8
		● ディスクがディスクテーブルに正しくセットされていない。	p.22、24
		● リージョン NO. が一致していない。	p.63
		● 本機の内部が結露している。	p.8
	2. 再生できない	● PAL 方式や SECAM 方式のディスクは再生できません。	p.3
		● ディスクを表裏逆に入れている。	
映像	3. マークが画面に出る	● ディスク自体が禁止している操作です。	
	4. マークが画面に出る	● 本機がその操作を禁止しています。	
	5. 画面が止まり、操作ボタンを受け付けない	● 一度停止（■ ボタンを押す）してから、もう一度再生してください。	
	6. 設定内容が消える	● 電源が入っているときに、停電や電源コードが抜かれて電源が切れてしまったときは、設定内容が消えてしまいます。 また、電源コードを抜くときは、必ず本体の電源スイッチまたはリモコンの ⏻ ボタンを押して表示部の「-OFF-」表示が消えてから行ってください。	
	7. 画面が映らない	● 接続が間違っている。	p.12-16
		● テレビまたは AV アンプの操作（設定）が合っていない。	
	8. 画像が縦長、横長になる。、またはアスペクトが切り換わらない	● アスペクトの設定が合っていない。	p.35
	9. DVD再生中に画像が乱れる、または暗い	● 本機はアナログコピープロテクト方式のコピーガードに対応しています。ディスクによってはコピー禁止信号が入っているものがあり、そのようなディスクを再生した場合、テレビによっては一部画像に横縞が入る等の症状が出るものもありますが、故障ではありません。	
	10. DVD 映像をＶＴＲに録画したり、VTRを通して再生すると再生画像が乱れる	● 本機はアナログコピープロテクト方式のコピーガードに対応しています。ディスクによってはコピー禁止信号が入っているものがあり、そのようなディスクを VTR を通して再生したり、VTR に録画して再生するとコピーガードシステムにより正常に再生されません。	
	11. 画面が白黒になる	● 映像出力がコンポーネントに設定されているが、テレビがコンポーネント入力に対応していない。または、コンポーネント入力が選ばれていない。	p.37
		● LD再生をしているのにテレビ側でコンポーネント入力を選択している。	
リモートコントロール	12. リモコンで操作できない	● 背面パネルのコントロール入力端子と接続している。	p.12-14
		● 本機と離れすぎている。または、リモコン受光部との角度がありすぎる。	
		● リモコンの電池が消耗している。	
	13. テレビなどが誤動作する	● ワイヤレスリモコン機能を持つテレビの一部には、本機のリモコン操作により誤動作するものがある。	
音声	14. 音が出ない、音が歪む	● デジタル出力のリニアPCMの設定が96kHzに設定されている。ディスクによっては、デジタル出力を禁止しているものがあります。	p.36
		● ディスクが汚れている。	p.8
		● 接続プラグの差し込みかたが不十分、または外れている。	
		● 接続プラグや端子が汚れている。	
		● 音声ケーブルの接続が間違っている。	p.12
		● ステレオアンプの PHONO 入力端子と接続している。	
		● 一時停止になっている。	
		● ステレオアンプの操作が間違っている。（とくに、入力の選択が正しくされているか（CD、AUX 等）確認してください。）	
		● DTS 音声の収録されている DVD、LD、CD を再生している。	p.37
	15. DVD の音が小さい	● DVDの音が他のディスクより小さく聞こえることがありますが、これはディスクの記録方式の違いによるものです。	
	16. ノイズが出る	● DTS 音声の収録されている LD を再生している。 アナログ音声に切り換えてください。	p.43

ご注意：
静電気など、外部からの影響により本機が正常に動作しないことがあります。このようなときは、電源コードを一度抜いて再び差し込むことで正常に動作する場合があります。これで解決しないときは、最寄りの弊社サービスステーションにご相談ください。

用語

CAV
レーザーディスクの種類のひとつで、標準ディスクを指して使います。このレーザーディスクのジャケットまたはレーベルには、「標準ディスク/CAV」、または「Standard Play」と表示されています。

CLV
レーザーディスクの種類のひとつで、長時間ディスクを指して使います。このレーザーディスクのジャケットまたはレーベルには、「長時間ディスク/CLV」、または「Extended Play」と表示されています。

DTS
DTSはドルビーデジタル(AC-3)と異なるサラウンドシステムの1つです。DTSディスクを楽しむには、本機のデジタル出力端子(同軸または光どちらでも可)をアンプやプロセッサーのDTS入力端子へ接続することが必要です。

MPEG
Moving Picture Experts Groupの略でエムペグと読みます。これは動画像圧縮の国際標準です。DVDでは、この方式でデジタル音声を圧縮して記録しているものがあります。

PCM
Pulse Code Modulationの略でデジタル音声のことをいいます。CDやLD、DVDのデジタル音声がPCMです。

S2映像出力
S2とは映像のアスペクト比(4:3、16:9)と画像信号形態(スクイーズ、レターボックス)の識別信号の入ったS映像信号です。S2対応のワイドテレビでは、適切な映像モードに自動的に切り替わります。

TOC
音声信号以外のTOC(Table Of Contents)という情報がディスクの始めの部分に記録されています。その名のように、本の目次に相当し、曲数や演奏時間の情報が入っています。
●LDにもTOCが記録されているものがあります。
●TOC付きLDとCDVは、同じ「光学式デジタル音声付きビデオディスクシステム」の仲間です。

Virtual Dolby Surround*
2つのスピーカーで仮想的にサラウンドを楽しむことができます。39ページ「立体感のある音場に切り換える」でオンを選んでください。

* バーチャル技術として、SRS社のTruSurround方式を採用しています。
TruSurroundはSRS Labs, Inc.の商標です。SRSとSRSのマークは米国およびその他数ヵ国におけるSRS Labs, Incの登録商標です。
TruSurroundの技術は、SRS Labs, Inc.によって使用許諾が登録されています。

アスペクト比
テレビ画面の横と縦の比率をいいます。通常のテレビでは、4:3ですが、ハイビジョンテレビやワイドテレビは16:9の比率となっています。横に広がった臨場感溢れる映像が楽しめるようになっています。

グラフィックスディスク
映像や音声以外にサブコードというデータとしてグラフィックスが記録されたディスクです。LDグラフィックスディスクでは、サブコードに映画の台詞や歌の歌詞などが記録されています。

LD·G
LASER DISC GRAPHICS

CDグラフィックスでは、カラオケ用の歌詞やカラオケ演奏を盛り上げるグラフィックス(絵)などが記録されています。

GRAPHICS

コンディションメモリー
コンディションとは、状態などをいいます。本機のコンディションメモリー機能により、再生しているときのさまざまな状態を記録しておき、再び同じディスクを楽しむときに、再設定をせずに楽しめます。

コンポーネント出力
Y、C_B、C_Rの3つの信号からなり、コンポーネント入力付きのテレビと接続することにより、よりきれいな映像が得られる映像出力です。

タイトルナンバー
映画などでいうタイトルのことです。DVDは大容量なので、1枚のディスクに複数の映画を記録することができます。たとえば、異なる3つの映画が記録されていますと、タイトル1、タイトル2、タイトル3に分けられます。タイトルナンバーを選んで再生する操作ができます。

ダイナミックレンジ
ひずみ無く信号を伝送、変換する最大のレベルと雑音その他、機器の性質で制限される最小レベルの差をいいます。単位はデシベル(dB)を使います。

タイムナンバー
ディスクのタイトル内の最初からの再生経過時間です。希望のシーンをタイムナンバーで探すタイムナンバーサーチなどの操作ができます。

チャプターナンバー
ディスクのタイトル内をいくつかのセクションで区切り、番号付けしたナンバーです。本の"章"番号に相当します。このチャプターナンバーが記録されていれば希望のセクションを素早く見つけるチャプターサーチなどの操作ができます。

デジタル音声付きマルチオーディオディスク

デジタル音声、アナログ音声それぞれに異なった内容の音声が記録されたディスクです。

digital AUDIO と MULTI AUDIO または digital SOUND MULTI AUDIO

デジタル音声、アナログ音声を切り換えて、それぞれの音声が楽しめます。

デジタル音声付きレーザーディスク

アナログ音声信号に加えて、デジタル音声信号も記録されたレーザーディスクです。レーザーディスクの高品質の映像とデジタルサウンドが同時に楽しめます。

digital AUDIO または digital SOUND

ドルビーデジタル(AC-3)

ドルビーデジタル（AC-3）は最大 5.1 チャンネルの独立したマルチチャンネルオーディオを提供します。このシステムは、映画館にサラウンドシステムとして装備されているドルビーデジタルと同一のシステムです。

DOLBY SURROUND AC—3 DIGITAL または DOLBY DIGITAL

ドルビーデジタル(AC-3)ディスクを楽しむには、DVDの場合は本機のデジタル出力端子（同軸または光どちらでも可）をドルビーデジタル（AC-3）搭載アンプやプロセッサーのデジタル入力AC3/PCM端子へ接続することが必要です。LDの場合は、本機の AC-3 RF出力端子をアンプやプロセッサーの AC-3 RF入力端子へ接続することが必要です。

パレンタルレベル

英語の綴りでは、PARENTAL です。これは、PARENT（親、両親）からきています。これから解るように、親が、子供に見せたくない映像に制限が付いているものです。

光デジタル出力

音声は通常、電気信号に変えて電線でプレーヤーからアンプなどの他の機器に伝達しますが、これを光ファイバーを使ったデジタル信号に変えて伝達できるようにしたものが光デジタル出力です。（アンプなどの受け取り側は光デジタル入力になります。）

ビデオCD

MDと同等の音質とVHS並みの画質で動画再生が楽しめるディスクです。デジタル信号の圧縮技術（MPEG1方式）により最大74分のデジタル画像と音声が連続再生できます。ビデオCDにはメニュー画面で見たい場面を選んだり、静止画を再生できる「プレイバックコントロール（PBC）」対応のディスクがあります。

プレイバックコントロール(PBC)

ビデオ CD（バージョン 2.0）に記録されている、再生をコントロールするための信号です。
PBC 付きビデオ CD に記録されているメニュー画面を使って簡単な対話形式のソフトや検索機能のあるソフトの再生が楽しめます。
また高精細 / 標準の静止画も楽しむことができます。

フレームナンバー

LD の標準ディスク（CAV）のすべての画面（フレーム）ごとに記録された番号です。希望のシーンをこのフレームナンバーで探すフレームサーチなどの操作ができます。

マルチアングル

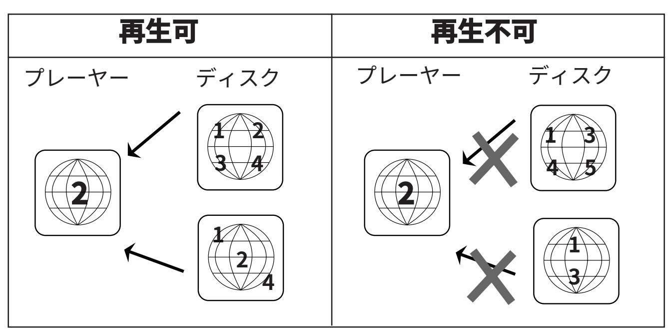
通常のテレビ番組などはテレビカメラからの映像を見ていますので、画像は撮影しているカメラの位置の視点でテレビ画面に表示されます。テレビスタジオなどでは数台のカメラで同時に撮影し、その中の1つを番組のディレクターが選んで電波にのせて各家庭のテレビに送っているわけですが、すべてのカメラの画像が同時に送られて視聴者側で視点（カメラ）を選べれば、見たいところが見られるわけです。DVDには同時に複数のカメラで撮影したすべての画像が記録されているものがあり、プレーヤー側で視点を変えられるものがあります。これをマルチアングルディスクといいます。

マルチ言語字幕

映画などでおなじみの字幕の言語です。DVDでは字幕の言語を最大32カ国分記録することができ、その中からお好きな言語を選んで楽しめる機能です。

リージョンNo.

DVD プレーヤーと DVD ディスクは発売地域ごとに再生可能地域番号（リージョン No.)が設けられており、再生するディスクに記載されている番号にプレーヤーの地域番号が含まれていない場合は再生できません
●本機のリージョン NO. は後面部に表記されています。



レガート・リンクコンバージョン

ディスクに記録されている音声信号の周波数は、20kHzを上限としていますが、自然界の音や、楽器に含まれる音楽成分にはこれを超える周波数成分も含まれており、本当の意味でオリジナルの信号波形そのものがディスクに記録されているとは言えません。「レガート・リンクコンバージョン」はディスクに記録された信号をもとに記録前の信号を想定し、原音により近い音楽再生を実現する技術です。

レーザーディスク（LD）

レーザーディスクには、信号の記録方式により標準ディスク（CAV）と長時間ディスク（CLV）があります。

言語コード表

言語表記はISO639:1988(E/F)に準拠(1998年9月現在)

34ページ参照

言語	言語ｺｰﾄﾞ	入力ｺｰﾄﾞ(上位)	入力ｺｰﾄﾞ(下位)
Japanese	ja	10	01
English	en	05	14
French	fr	06	18
German	de	04	05
Italian	it	09	20
Spanish	es	05	19
Dutch	nl	14	12
Russian	ru	18	21
Chinese	zh	26	08
Korean	ko	11	15
Greek	el	05	12
Afar	aa	01	01
Abkhazian	ab	01	02
Afrikaans	af	01	06
Amharic	am	01	13
Arabic	ar	01	18
Assamese	as	01	19
Aymara	ay	01	25
Azerbaijani	az	01	26
Bashkir	ba	02	01
Belorussian	be	02	05
Bulgarian	bg	02	07
Bihari	bh	02	08
Bislama	bi	02	09
Bengali, Bangla	bn	02	14
Tibetan	bo	02	15
Breton	br	02	18
Catalan	ca	03	01
Corsican	co	03	15
Czech	cs	03	19
Welsh	cy	03	25
Danish	da	04	01
Bhutani	dz	04	26
Esperanto	eo	05	15
Estonian	et	05	20
Basque	eu	05	21
Persian	fa	06	01
Finnish	fi	06	09

言語	言語ｺｰﾄﾞ	入力ｺｰﾄﾞ(上位)	入力ｺｰﾄﾞ(下位)
Fiji	fj	06	10
Faroese	fo	06	15
Frisian	fy	06	25
Irish	ga	07	01
Scottish Gaelic	gd	07	04
Galician	gl	07	12
Guarani	gn	07	14
Gujarati	gu	07	21
Hausa	ha	08	01
Hindi	hi	08	09
Croatian	hr	08	18
Hungarian	hu	08	21
Armenian	hy	08	25
Interlingua	ia	09	01
Interlingue	ie	09	05
Inupiak	ik	09	11
Indonesian	in	09	14
Icelandic	is	09	19
Hebrew	iw	09	23
Yiddish	ji	10	09
Javanese	jw	10	23
Georgian	ka	11	01
Kazakh	kk	11	11
Greenlandic	kl	11	12
Cambodian	km	11	13
Kannada	kn	11	14
Kashmiri	ks	11	19
Kurdish	ku	11	21
Kirghiz	ky	11	25
Latin	la	12	01
Lingala	ln	12	14
Laothian	lo	12	15
Lithuanian	lt	12	20
Latvian, Lettish	lv	12	22
Malagasy	mg	13	07
Maori	mi	13	09
Macedonian	mk	13	11
Malayalam	ml	13	12

言語	言語ｺｰﾄﾞ	入力ｺｰﾄﾞ（上位）	入力ｺｰﾄﾞ（下位）
Mongolian	mn	13	14
Moldavian	mo	13	15
Marathi	mr	13	18
Malay	ms	13	19
Maltese	mt	13	20
Burmese	my	13	25
Nauru	na	14	01
Nepali	ne	14	05
Norwegian	no	14	15
Occitan	oc	15	03
(Afan) Oromo	om	15	13
Oriya	or	15	18
Panjabi	pa	16	01
Polish	pl	16	12
Pashto, Pushto	ps	16	19
Portuguese	pt	16	20
Quechua	qu	17	21
Rhaeto-Romance	rm	18	13
Kirundi	rn	18	14
Romanian	ro	18	15
Kinyarwanda	rw	18	23
Sanskrit	sa	19	01
Sindhi	sd	19	04
Sangho	sg	19	07
Serbo-Croatian	sh	19	08
Singhalese	si	19	09
Slovak	sk	19	11
Slovenian	sl	19	12
Samoan	sm	19	13
Shona	sn	19	14
Somali	so	19	15
Albanian	sq	19	17
Serbian	sr	19	18
Siswati	ss	19	19
Sesotho	st	19	20
Sundanese	su	19	21
Swedish	sv	19	22
Swahili	sw	19	23

言語	言語ｺｰﾄﾞ	入力ｺｰﾄﾞ（上位）	入力ｺｰﾄﾞ（下位）
Tamil	ta	20	01
Telugu	te	20	05
Tajik	tg	20	07
Thai	th	20	08
Tigrinya	ti	20	09
Turkmen	tk	20	11
Tagalog	tl	20	12
Setswana	tn	20	14
Tonga	to	20	15
Turkish	tr	20	18
Tsonga	ts	20	19
Tatar	tt	20	20
Twi	tw	20	23
Ukrainian	uk	21	11
Urdu	ur	21	18
Uzbek	uz	21	26
Vietnamese	vi	22	09
Volapük	vo	22	15
Wolof	wo	23	15
Xhosa	xh	24	08
Yoruba	yo	25	15
Zulu	zu	26	21

保証とアフターサービス

保証書（別添）

保証書は必ず「販売店名・購入日」などの記入を確かめて販売店から受け取り、内容をよく読んで大切に保管してください。

保証期間は購入日から 1 年間です。

当社はこの製品の補修用性能部品を製造打ち切り後最低8年間保有しています。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理に関するご質問、ご相談は

お買い上げの販売店または、最寄りの当社サービスステーションをご利用ください。
所在地、電話番号は別添の「ご相談・修理窓口のご案内」をご覧ください。

修理を依頼されるときは

61ページに従って調べていただき、必ず電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店または、お近くのパイオニアサービスステーションにご連絡ください。

連絡していただきたい内容について：
- 品名　DVD LD プレーヤー
- 品番　DVL-919
- お買上げ日
- 故障の状況「できるだけ具体的に」「ディスクのタイトル」
- ご住所　「付近の目印も合わせてお知らせください」
- お名前
- 電話番号
- 訪問ご希望日

保証期間中は：

修理に際しましては、保証書をご提示ください。保証書に記載されている当社保証規定に基づき修理致します。

保証期間が過ぎているときは：

修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理いたします。

仕様

一般
形式 .... DVD、LD、ビデオ CD および
コンパクトディスクデジタルオーディオシステム
電源 .... AC100V、50/60Hz
消費電力 39W
スタンバイ時消費電力 4.7W
本体質量 8.5kg
外形寸法. 420（幅）× 462 ×（奥行）× 146（高さ）mm
許容動作温度 .... ＋ 5℃〜＋ 35℃
許容動作湿度 .... 5%〜 85%（結露のないこと）

S 2 映像出力＜ 2 系統＞
Y 出力レベル .... 1Vp-p（75 Ω）
C 出力レベル .... 286mVp-p（75 Ω）
出力端子 .... S 端子

映像出力＜ 2 系統＞
出力レベル .... 1Vp-p（75 Ω）
出力端子 .... ピンジャック

コンポーネント映像出力＜ 1 系統＞
(Y, C_B, C_R)
出力レベル .... Y:1.0 Vp-p（75 Ω）
C_B, C_R: 0.7 Vp-p（75 Ω）
出力端子 .... ピンジャック

音声出力＜ 2 系統＞
出力レベル
　アナログ音声出力 .... 200mVrms（1kHz、40%）
　デジタル音声出力 .... 200mVrms（1kHz、－ 20dB）
チャンネル数 .... 2 チャンネル
出力端子 .... ピンジャック

デジタル音声特性（DVD　fs=96 kHz、24bit 時）

周波数特性	4Hz 〜 44kHz(DVD)
SN 比	115dB
ダイナミックレンジ	103dB
全高調波歪率	0.002%
ワウ・フラッター	測定限界（± 0.001%W.PEAK）以下

その他の端子
光デジタル出力（AC-3/PCM） .... 光コネクター
同軸デジタル出力（AC-3/PCM） .... ピンジャック
同軸デジタル出力（PCM） .... ピンジャック
AC-3 RF 出力 .... ピンジャック
コントロール入力 / 出力 .... ミニジャック（3.5 φ）

付属品
リモコンユニット 1
単 3 形乾電池（R6P） 2
オーディオコード 1
ビデオコード 1
電源コード 1
取扱説明書、安全上のご注意、保証書、
ご相談窓口・修理窓口のご案内 .... 各 1

●本機の仕様および外観は改良のため予告なく変更することがあります。

索引

お客様ご相談窓口(全国共通フリーフォン)

お客様相談センター

● ｶｰｽﾃﾚｵ／ｶｰﾅﾋﾞｹﾞｰｼｮﾝ製品に関するお問合せ窓口　フリーフォン 0070-800-818111

● 家庭用ｵｰﾃﾞｨｵ／ﾋﾞﾃﾞｵ製品に関するお問合せ窓口　フリーフォン 0070-800-818122

● カタログのご請求に関する窓口　フリーフォン 0070-800-818133

＜ご注意＞ ● ＰＨＳ、携帯電話、自動車電話、列車公衆電話、船舶電話、ピンク電話および海外からの国際電話ではご利用になれません。予めご了承ください。

● 修理に関しては別添の『ご相談窓口・修理窓口のご案内』をご参照ください。

愛情点検

長年ご使用のオーディオ製品の点検をおすすめいたします。こんな症状はありませんか

- **電源コードや電源プラグが異常に熱くなる。**
- **電源コードにさけめやひび割れがある。**
- **電気が入ったり切れたりする。**
- **本体から異常な音、熱、臭いがする。**

⇩

すぐに使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜き、故障や事故防止のため電気店または当社サービスステーションに点検（有料）をご依頼ください。

お客様メモ

●おぼえのため記入されますと便利です。

ご購入店名	**住所** **電話番号**	**お近くのご相談窓口**	**住所** **電話番号**
ご購入年月日	**年　　月　　日**	**型　番**	**この機種は DVL-919 です**

この取扱説明書は再生紙を使用しています。

パイオニア株式会社　〒153-8654　東京都目黒区目黒1丁目4番1号

<98J00EF0Z01>　<VRA1145-A>